昭和44年12月23日第3種郵便物認可昭和47年3月1日発行毎月1回1日発行

日本バドミントン協会

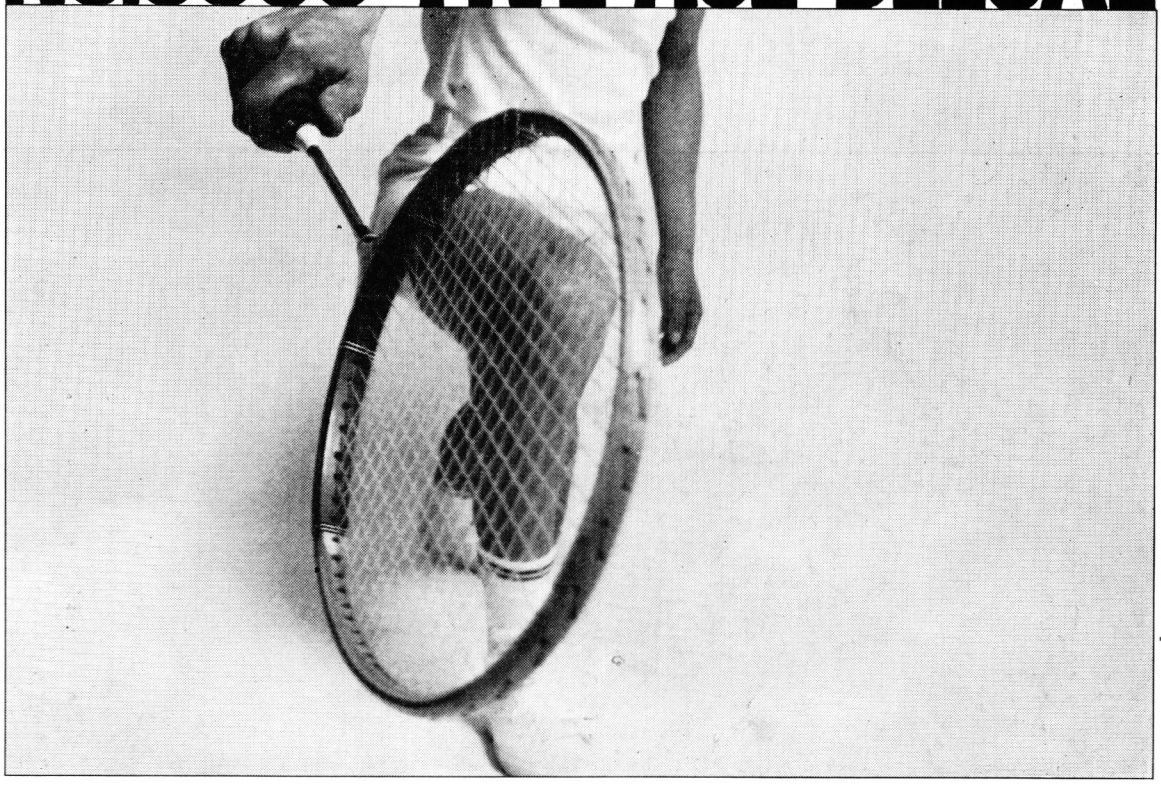
バドミントン界

THE BADMINTON WORLD

no.31
3.4 1972
合併号



No.6000 FIVE ACE DELUXE



テクニックが冴える

ガット有効面のひろがり

〈バドミントンを科学する〉ヨネヤマのラケットは、ガットの有効面積が、広く設計されている。だから、どこで打っても、シャトルを鋭くとらえる。テクニックが、冴える。狙いに、くるいがない。シャトルとラケットの、一瞬の出逢い。この一瞬を、科学した結論です。ヨネヤマは、カンと経験だけを、頼りにはしません。あくまでも科学的に、探ぐり、割りだして、ラケットを造っているのです。

No.6000ファイブエースデラックス/￥3,500(フレームのみ)

ヨネヤマラケット

今月号のダイジェスト

☆単で中山、複で相沢・竹中　デンマーク戦に完勝、勢いに乗って欧州に遠征した日本チーム（中山、湯木、相沢、竹中）は非公式に個人の世界選手権といわれる全英大会で予想どおりすばらしい成績をおさめた。

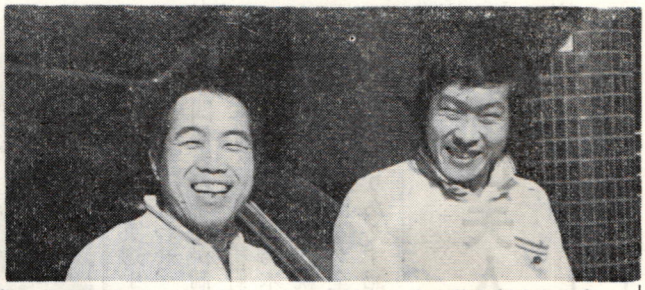
シングルスで中山夫人が宿願達成の初優勝、ダブルスでは復調なった相沢・竹中組が、これまた初栄冠。日本勢としては、シングルスでは69年の湯木、70年の竹中についで三人目、ダブルスは昨71年の中山・湯木組についで二組目の王座獲得。一度で単複を制したのは、しかし今回で初めてのことだ。

これに先き立つデンマーク・オープン、日英対抗等では、必ずしもパッとせず、男子も小島の不調などがあって、すべて合格点ではなかったが、まずまず近ずくユ杯には、ほっとひと息といったところ。

本号では、このハイライトだけをとりあえず速報した。締めくくりは次回にゆずろう。

☆チャンピオンズ・トーナメント、またも中山夫人　デンマーク戦と海外遠征の間に行なわれた恒例の女子のカード。ユ杯チームを中心とするメンバーが出場したが、結果はまたも中山夫人の一人舞台だった。トシをとるほど強くなるとは？

☆ユ杯の準備着々進む　入場券の値段、発売日等が決まった。そのほか、バッジの売り出しポスター、プログラムの制作も進んでいる。（読者の広場ほかをごらん下さい）



おれたちだって女子なんかに負けないぞ。秋山（左）と小島

☆高校、大学を卒業したトップ選手はどこへ進んだか　新年度になった。さきごろまで高校、大学で活躍していた選手たちはどうなったろうか。ざっと調べてみた。男子高校のトップは東京の名門校中大、法大へ多く集り、また、この両大学が今年も学生界に覇をとなえそう。女子の大物は日体大へ集中したようだし、大学勢では、ユ杯候補の東大阪短大勢がトリオを組んで三菱電機伊丹へ。（読者の広場をごらん下さい）

☆東京でファン組織が動き出した　サッカー、バレーボールなどには「友の会」というファン組織があるが、バドミントンでも、日本協会の広報や学連とOBのささやかな勢力で「友の会」が結成された。もちろん組織もまだ弱く、活動はこれからだが、とりあえず、その輪を全国に拡げるきっかけになればと参考までに、経過と方針をとりまとめてみた。

☆よくおこるケイレン　バドミントンでは大事故は少いが、ケイレンは、だれにもよくおこる。その原因はなにか、また、おきたときどうすればいいか、防ぐには……愛知県協会がまとめた報告をご紹介する。

バドミントン界〈47年3・4月合併号〉

史上初、日本女子が全英で〝二冠〟

〔特集〕 海外遠征速報 ……2
・全英選手権、シングルスは中山、ダブルスは相沢・竹中組に初栄冠
・デンマーク選手権、ツェドベリ夫人が日本勢を総ナメ
・小島、連続の逆転劇実らず・日英対抗は日本苦杯
◇中山夫人ゆうゆう二連勝（チャンピオンズトーナメント）…6
・写真グラフ――大会名場面から……17
◇各地に〝友の会〟をつくろう……7
・東京にスタートした愛好者の組織化活動
◇けいれん・筋痛――その誘因と対策を考える……9
〔特集〕 読者の広場――北から南から ……11
・高校、大学のトップ選手は、この春どこへ進んだか
・観客マナーも国際的にしよう
・ユ杯入場券5月1日から発売、日本協会でも受け付け
◇スポーツ界の日中交流さらに活発化……20
・バレーボールが正式調印、七月訪中へ
◇各地の動き――協会ニュース……27
・バドミントンの日中問題再検討へ
・新年度予算、普及強化に前むきの取り組み
・新アマ資格審査委員規則と細則
・各県の動き、日程、後藤鉾二氏逝く
◇連載〈バドミントン昔むかし〉第4回……31
◇第二回男子ナショナルチーム合宿ルポ……32
◇新・百万人のバドミントン上達法……35
表紙……40　海外メモ…3
お知らせ…34　沖縄へ善意の
編集室……40　援助手渡す
…40

スタッフ／表紙撮影・松井亮磨／同制作・小浜正道／グラフ・山田真市／え・秦浩／編集・明本薫／庶務・本島道子／協力・各県協会関係者、愛読者

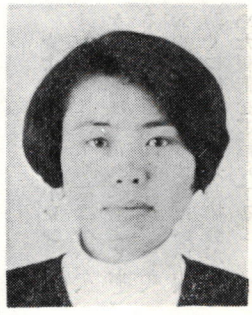
日本女子，全英で単複ともに制す

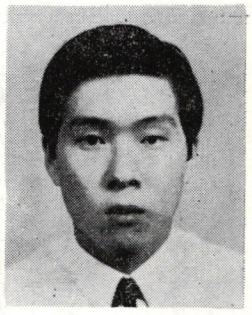
速報

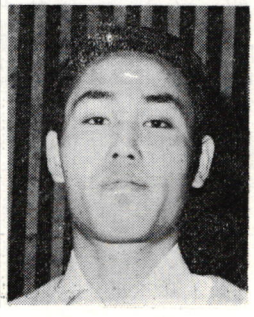
ユ杯に希望〝曇りのち晴れ〟の海外遠征

史上初の快挙，シングルスは三人目









日本女子が全英選手権で単複ともに優勝という、日本にとって史上初の快挙をなしとげた。間近に迫ったユ杯の防衛戦を考え合わせ、まことに心強い限りである。今春の海外遠征には派遣費用とエントリーのワクの問題があって、関係者の希望が制限され、女子で中山紀子（弘文堂）湯木博江（カワサキラケット）相沢マチ子、竹中悦子、男子で小島一平、椙野尾昌一（以上ヨネヤマラケット）の六人が参加した。最初のデンマークオープンでは、女子ダブルスで中山・湯木×相沢・竹中が決勝を争ってベテラン組の勝利となったほか、日本勢は一つもタイトルをとれなかった。また、続くスコットランド招待でも中山が女子単を制しただけ、日英チーム対抗は小島、湯木が先勝しながら後続部隊が全滅して負け〝暗雲〟がただよっていただけに、全英の勝利は、不安を一気に吹きとばすものだった。とりあえず記録をここに速報する。

中山夫人が初、決勝で湯木振り切る

全英選手権　相沢・竹中組も初栄冠

個人戦で非公式の世界選手権といわれる全英選手権大会は、三月二十二日から四日間、ロンドン郊外のウェンブレーで開かれた。

日本勢は女子がシングルスで決勝進出者を独占した結果、経験にまさる中山がフルゲームで湯木をくだし、宿願の初優勝をとげた。この種目では69年に湯木、70年に竹中が勝っており、日本人としての〝女王〟は三人目。またダブルスも前年優勝の中山・湯木組がベスト8で敗退したが、若手の相沢・竹中組が強豪をナギたおして初の栄冠に輝いた。相沢は遠征中シングルスで不振だったが、ダブルスでは名コンビの復調が証明され、前途が明るくなった。この種目、日本は二連勝。

男子はデンマーク戦以後、調子悪く、単複ともに早々と姿を消してしまった。なお男子単ではインドネシアのルディ・ハルトノが史上二人目の輝く大会5連勝を飾った。

◇**全英選手権大会**（3月22日―25日・ロンドン＝ウェンブレーコート）

〔**男子シングルス**〕

▽一回戦

シュナーゼ（西）　2（15―12　15―11）　1　椙野尾

小島　2（15―15　15―9）　0　ホワイト（英）

デンマークがユ杯の欧州代表

ユ杯欧州ゾーン決勝デンマーク×英国戦はデンマーク・オープン直前に行なわれ、デンマークが5―2で勝って代表権を獲得した。インターゾーンで同国は日本と対戦する。すでに欧州のほかニュージーランド（豪亜ゾーン）インドネシア（アジアゾーン）が決まっている。

☆ミュンヘン五輪代表に小島、中山、湯木の3選手決まる

IBF（国際バドミントン連盟）は三月二十四日、ミュンヘン五輪エキシビションで行なわれるバドミントン競技の出場選手、十一カ国男女二十四人を決め、発表した。

日本からは男子で小島一平（ヨネヤマラケット）女子で中山紀子（弘文堂）湯木博江（カワサキラケット）の三人が選ばれた。このほか、男子ではハルトノ（インドネシア）プリ（デンマーク）グナラン、ウンブンビー、タンアイクモン（マレーシア）女子はツェドベリ（スウェーデン）ストランド（デンマーク）ウタミ（インドネシア）らが出場する。



宿願達成！日本晴れの相沢(左)竹中

▽二回戦
ヨハンソン(S) 2 (15―11 / 8―11) 0 小島

▽決勝
ハルトノ(I) 2 (15―9 / 15―4) 0 プリ(D)

〔男子ダブルス〕

▽一回戦
エディ、サットン(英) 2 (15―7 / 15―10) 0 小島、柵野尾

▽決勝
クリスチャン、チャンドラ(I) 2 (15―5 / 15―2) 0 スチブンス、トレジェット(英)

〔女子シングルス〕

▽一回戦
湯木 2 (11―1 / 11―8) 0 ケリー(英)

▽二回戦
中山 2 (11―0 / 11―0) 0 スマイルズ(英)
ステデン(西) 2 (11―7 / 11―6) 0 相沢
湯木 2 (11―5 / 11―6) 1 ギルクス(英)

▽三回戦
中山 2 (11―5 / 11―2) 0 スミラ(I)
湯木 2 (11―5 / 11―1) 0 ベケット(I)

▽準々決勝
中山 2 (11―9 / 11―0) 0 ベック(英)
湯木 2 (11―9 / 12―5) 0 ビューセコム(オ)

▽準決勝
湯木 2 (12―11 / 11―7) 0 ツェドベリ(S)
中山 2 (11―4 / 11―8) 0 コーペン(D)

▽決勝
中山紀子 2 (11―3 / 11―7) 1 湯木博江

〔女子ダブルス〕

▽一回戦
相沢、竹中 2 (15―5 / 15―3) 0 チティ、アイリン、グワース(英)

▽二回戦
中山、湯木 2 (15―7 / 15―4) 0 ガードナー、ギルズ(英)
相沢、竹中 2 (15―5 / 15―9) 0 クーパー、スミス(英)

▽準々決勝
相沢、竹中 2 (15―7 / 15―3) 0 コーペン、ベルクント(D)
ゲルラッカ、ワクロー(西) 2 (9―15 / 15―5 / 15―1) 1 中山、湯木

▽準決勝
相沢、竹中 2 (15―8 / 15―4 / 15―9) 1 ギルクス、ハシュマン(英)

▽決勝
相沢、竹中 2 (9―15 / 15―8 / 15―12) 1 ベック、リカード(英)

ツエドベリ強し、日本勢を総ナメ

デンマーク大会　相沢、湯木、中山あいつぐ土

日本勢海外遠征の第一戦、デンマーク・オープン選手権大会は三月十三日から四日間、コペンハーゲンで行なわれた。男子シングルスでは小島が準々、準決勝ともフルゲームの大接戦で勝ち抜きながら、決勝地元のスベンド・プリに敗れ、涙をのんだ。ダブルスは準決で棄権した。

一方、女子単はスウェーデンのツエドベリ夫人に相沢、湯木、中山があいつぎ敗退、ダブルスで中山・湯木が優勝、相沢・竹中組が準優勝したにとどまった。

◇**デンマーク、オープン選手権大会**（3月13日―16日・コペンハーゲン）

〔**男子シングルス**〕

▽一回戦

桝野尾 2(15―7)0 ウェ(M)ヌグタト

▽二回戦

桝野尾 2(15―1)0 ード(D)ノエルガ

小　島 2(15―3)0 (西)クッキ

▽三回戦

ハンセン(D) 2(15―8)0 桝野尾

小　島 2(18―15)1 (M)タンアイクハン

小　島 2(15―14)0 (D)ニールセン

▽準々決勝

小　島 2(15―8)0 桝野尾

▽準決勝

小　島 2(17―10)1 (D)デルフス

（**注**）記録中の略称　D＝デンマーク、S＝スウェーデン、I＝インドネシア、**西**＝西独、マレーシア、T＝タイ、N＝ノルウェー、**メ**＝メキシコ、**エ**＝エール、**オ**＝オランダ、M

プ　リ 2(15―4)0 (S)ヨンソン

▽決　勝

スベンド・プリ(D) 2(15―9)0 小島一平

〔**男子ダブルス**〕

▽一回戦

小島 桝野尾 2(15―9)0 (D)スコフガルト、Gハンセン

▽二回戦

小島 桝野尾 2(18―17)0 (D)モルテンセン、Eハンセン

▽準々決勝

小島 桝野尾 2(18―15)1 (D)ペトセンワルセ

▽準決勝

サンゴブバンディト(T) 2(15―7)0 (M)ウンタトワイ、ラーマン

ウンブンビー、グナラン(M) 不戦勝 桝野尾

▽決　勝

ウンブンビー、グナラン(M) 2(15―6)0 (T)サンゴブバンディト

〔**女子シングルス**〕

▽一回戦

湯　木 2(11―6)0 (D)カーガート

▽二回戦

湯　木 2(11―0)0 (D)ソメルフェルト

中　山 2(11―1)0 (西)セデン

湯　木 2(11―0)0 (D)コーペン

ツエドベリ(S) 2(11―4)0 相　沢

▽準々決勝

湯　木 2(11―0)0 (D)コーペン

中　山 2(11―2)0 (D)フェッゲ



▽準決勝

中山 2 (11-11-13-10) 0 ベルクント(D)

ツェドベリ(S) 2 (11-11-9-11-12) 1 湯木

▽決勝

エバ・ツェドベリ(S) 2 (11-11-4-11-6-0) 0 中山紀子

〔女子ダブルス〕

▽準々決勝

中山 木 2 (8-14-15-17-7-1) 1 ベック・クーパー(英)

相沢 中 2 (15-18-11-16-0) 0 ステデン・ツィボルト(D)

▽準決勝

中山 木 2 (15-15-11-9-5-1) 1 カーガー・フリント(D)

相沢 中 2 (15-8-9-0) 0 ジョーゲンセン、ストランド(D)

▽決勝

中山紀子 湯木博江 2 (17-15-11-15-11-1) 1 相沢マチ子、竹中悦子

中山ようやくツェドベリに雪辱

日英国際競技会 団体戦は逆転負け

世界の強豪を集めたスコットランド招待、および日英チーム対抗（男女の単複計7試合）は全英選手権の前衛戦として三月十八日から二十日まで、グラスゴーほかで行なわれた。

男子シングルスでは小島がまたまたハルトノに押えこまれた。女子でも湯木がツェドベリ夫人に再度、黒星を喫したが、中山が決勝でアダ討ちに成功、優勝した。（ダブルスについては不明）

日英対抗戦は、日本が疲労のせいか精彩なく、はじめの2戦で小島、湯木が勝ちながら残る5試合で総くずれに終わった。

◇スコットランド招待大会

（3月18日・グラスゴー）

〔男子シングルス〕

▽準決勝

ハルトノ(I) 2 (15-15-6-5-0) 0 小島

プリ(D) 2 (15-5-11-15-11-4) 1 ゴンザレス(メ)

▽決勝

スベンド・プリ 2 (15-1-15-15-9-5) 1 ルディ・ハルトノ

〔女子シングルス〕

▽準決勝

中山 木 2 (11-5-11-3-1) 1 ベルクント(D)

ツェドベリ(S) 2 (11-12-11-11-7) 0 湯木

▽決勝

中山紀子 2 (12-3-11-11-11-1) 1 エバ・ツェドベリ

◇イングランド×日本対抗国際競技会

（3月20日・英国カーライル）

イングランド 5―2 日本

▽シングルス

タルボット 1 (15-2-15-8-15-2) 2 小島一平

M・ベック 1 (11-9-4-11-7-11) 2 湯木博江

ジルクス夫人 2 (11-11-1-6) 0 相沢マチ子

スティブンス 2 (15-8-5) 0 栂野尾昌一

▽ダブルス

ハシマン夫人、ベック 2 (15-3-7-15-17-15) 1 相沢、竹中

タルボット、スチュアート 2 (18-16-15-3) 0 小島、栂野尾

ジルクス夫人、リカード夫人 2 (18-13-15-11-15-7) 1 中山夫人、湯木

小島、連続の逆転劇でスタンドわかす

無念!!決勝でプリに惜敗

最も激烈をきわめたのは男子シングルス準々決勝、準決勝の小島の試合だった。

準々決勝、対タン・アイク・ハン（マレーシア）戦は、タンが小島のスロースターターぶりにつけ込んで楽に第一ゲームをとった。しかし第二ゲームで小島はリズムをつかみ、攻勢を確立して1ゲーム・オール。

最終ゲーム、ハンはすばらしいストロークのさえを見せて9―2から12―6と先行した。だが小島は闘志を燃やして攻撃を続け、ペースを自分に引っぱり込んだ。そしてスコアは13―12から13オールへ。

守勢にまわったハンはゲームをコントロールする力が失せ、終盤は疲れはてて、ラケットを振り上げるのもやっとのありさまだった。

準決勝の相手、フレミング・デルフス（デンマーク）は上り坂の好選手。テクニックはなかなかのものだったが、最後は体力差で、〝大魚〟を逃した。

早いテンポで速射砲のように攻めたてる小島に対し、デルフスは小島のスマッシュをリターンするバックハンドに、きわ立った味を見せた。

最終ゲーム、13―7でデルフスがリード。しかし、ここからやはり小島の勝負強さが発揮された。長いラリーのあと、小島がペースを握って13オール。13オールからあとは、デルフス極度に疲れ、ラケットを振るのもやっとだった。最後のやり合いでデルフスが14―13と先行したときは、二千五百の観衆が、もう決まった、と総立ちになったほどだったが、結局は小島の底力の前に屈した。



中山夫人ゆうゆう二連勝

〝候補〟高坂、柴山もがんばる

第三回全日本女子チャンピオンズ・トーナメント（東京12チャンネル後援放映）は、対デンマーク戦の興奮さめやらぬ二月二十日、東京・代々木第二体育館で開かれた。

この大会は日本協会主催の年次大会優勝者（およびそれに準ずるもの）八人を選抜招待、いわば〝世界一〟の女子のプレーの〝エキス〟だけを味わってもらうもの。

今回は中山（全日本総合、同社会人1位）湯木（全日本実業団1位）鎌田（全日本教職員1位）柴山（全日本学生1位）秋本（全国高校1位）のほか、高坂（全日本学生2位）高崎（同3位）佐伯（全国高校2位）が参加した。

勝負は順当な結果となり、好調の中山夫人が、足の痛む湯木を軽く斥けて、前年に続き楽に2連勝した。しかし、同じユ杯チームのダークホース、高坂、柴山もよくがんばり、合宿を通じての進境を感じさせた。

▽一回戦

中山紀子（弘文堂）2（1111—11）0佐伯智子（一条高）

柴山きよ子（東大阪短大）2（1111—11）0鎌田光子（敬愛学園教）

高坂　薫（青学大）2（1111—63）0高崎弘子（東大阪短大）

湯木博江（カワサキ）2（1111—51）0秋本八代美（四条畷学）

▽準決勝

湯木博江 2（111110—56—12）1 高坂　薫

中山紀子 2（1111—30）0 柴山きよ子

▽三位決勝戦

柴山きよ子 2（11—8—11—9—7）1 高坂　薫

▽決　勝

中山紀子 2（1111—1—7）0 湯木博江

戦　評

高校生の秋本、佐伯、教職員の鎌田も練習不足で、ユ杯メンバーに肉迫するまでにはいたらなかった。ただ、時々その実力の片リンを見せていたのが、せめてもの救いであった。この一回戦では、ユ杯合宿等で相手を知りつくしている高坂×高崎戦は見ごたえがあった。

高坂ははじめからスピードに乗った早い動きで先手をとり、高崎の苦しまぎれのスマッシュをクロスに短く切り返して優位を保ち、第二ゲーム6—5と追われたが、一気にスパートして完勝した。スロースターター高崎は調子に乗り切れぬうち、焦って打ったスマッシュがコース悪く、高坂の反撃をあびた。

準決勝の中山×柴山は、柴山に中山のすべてを学びとろうとする意欲が見えたが、長いラリーのあとで凡ミスがあいつぎ、中山楽勝の手助けをしてしまった。それにしても第二ゲームの「0」はひどい。練習や合宿でいくらよくても試合で実力が発揮できなくては、なんにもならない。

もう一つの準決は高坂と左股関節の痛みを訴える湯木の対戦。第一ゲーム、凡ミスでリードを許した高坂が、得意のドロップと、湯木のバックへのドリブン・クリアーのコンビネーションよく、7—10から逆転した。

この好調ぶりでは、と思われたが、高坂は第二、第三ゲームとも、スタミナ不足からか、追いついてはエラーを出して自滅した。苦しい時は相手も苦しい。がまんしなければいけない。

決勝の勝敗は最初から明白だった。ベテラン中山が終始あわてず走り切り、ユ杯への自信がありありうかがえたのは心強かった。（**堺栄一**＝ユ杯コーチ）

普及発展は愛好者の組織化から



各地に友の会をつくろう

東京でバドミントンの「友の会」が生まれた。現在、約七百人もの〝会員〟がいる。マスコミに、バドミントン関係記事が載ることが少いため、いい競技会があっても、愛好者自身、気がつかないこと、見落すことも多いだろう。反面、一人でも多くのファンに競技会を見てもらい〝満員のスタンド〟というムードを、競技発展の〝原点〟にしたい――こんなところから組織をつくる話がとび出した。会としての本格的活動は、もちろん今後に期待だが、とりあえずその経過と意図を全国愛好者の参考まで、学連OBの中田正彦君に述べてもらった。（**カットの写真は友の会へのサービス色紙にサインする女子選手たち**）

●雑談からアイデア

競技会へのファンの吸引力を大きくしたい、そして同時にファンとプレーヤーの〝交流〟を密にしたい――こんなところから「友の会」のアイデアが生まれたといっていい。

きっかけは、その〝原点〟をさかのぼると、三年前、初めてのチャンピオンズ・トーナメントが行なわれたときに逆戻りする。試合後、コートを解放して年少ファンにシャトルを打ってもらっているのを横目に、取材に見えた記者各位と、協会広報関係者が「このファンの熱を生かし、競技をさかんにするにはなにがいいか」話し合った。

その年の秋のはじめ、アジア大会代表選手選考競技会があったとき、そのアイデアを生かすひとつの試みをやってみた。それは会場（東京・台東体育館）近隣の中高校などに案内を出し、入場券に住所氏名を記入してもらい、かつまた「バド界」読者をふやす、という一石二鳥をねらったものだった。

このときの回収カードは、その後も、以後の計画発展の基本となり、案内などをさし上げるのに役立った。それが具体的な「友の会」の形になったのは、昨年末の全日本総合選手権のおりだった。

●まず入場料割引き

この日本協会最終行事を盛り上げる、なにかいい企画はないか。企画のほとんどは、例によって時間とお金の関係でつぶれたが、ただひとつ、この「友の会」組織化の呼びかけというテーマだけが実行された。

これには伏線があった。近く

デンマーク女子招待、第三回女子チャンピオンズ・トーナメント、そしてユ杯と、バドミントン競技にとって、いわば興亡をかけた大きな行事が待っている。このためには、ぜひとも、ファンの協力を得なければならない……。

この間、サッカーをはじめバレー、バスケットにも同様趣旨の組織があることを記者諸氏から聞き、これも励みと参考になった。

全日本ではチラシをつくり、協会主催大会の案内をダイレクト郵送すること、入場料割り引きの特典をつくること、をPRした。ここで二百人がたちどころに入会してくれた。

●サイン色紙贈呈

デンマーク戦では東京・横浜の二会場で、さらに三百人が登録された。このときは会員のために見やすい席を確保し、そのコーナーで出場選手の特徴やプレーについて解説するつもりだった。残念ながら条件ととのわず、実行できなかった。しかし三十人に、この大会のポスターをプレゼント、喜ばれた。

チャンピオンズ大会では会員に案内状を持参してもらった。それは抽選で三十人に出場八選手のサイン色紙を差し上げることにしたからだ。当日入会者からも十六人ほど選ぶことにしたため、色紙が欲しいと、入会ずみの人がダブって応募したこともあったようだ。

東京新聞

後藤　忠弘

バドミントンでも、ようやく「友の会」ができたという。記者の知る範囲ではサッカー、バレー、バスケットと、似たような趣旨の組織ができており、バドミントンは四番目にあたる。

一番最初にできたサッカーは、くわしく取材したことはないが、全国的な規模に拡がっており、その数も、恐らく何万、いや何十万という強大なものだろう。

これから、というバドミントンにとって参考になるのは、その意味でバレー、バスケットの室内球技である。ふたつとも、やはり核は東京であり、会員へのサービスとゲームの応援が柱となっている。

バレーボールには、現在、数千名の会員がいて、全日本、日本リーグ、国際競技会など、おもな大会に、登録番号順で一試合五百人ずつが無料招待されている。

バスケットは「ファンクラブ」と称し、雑誌への一愛好者の少女の投書から生まれた。この投書を受けて立ったのはイラストレーターの〝セミプロ〟青年でそのバスケット専門誌の読者欄を通じて呼びかけ、昨年十月に行なわれた五輪アジア予選の声援にファンをかり出した。

入場料を割り引き、スタンドの一角を専用の席として確保、体戦特有の〈一部の人に非難されるくらいの応援合戦〉試合の案内状が届くかもしれません。

いま「友の会」を充実させるために考えられていることを二、三あげてみると――

①会員証、バッジ、ワッペンなど、仲間の目じるしになるものをつくる。

②第一線選手等を招いて、模範試合を見たあと、会員の練習相手やコーチをつとめてもらう

③同じく、これら選手たちから、努力のあとや練習法などを聞いて勉強する。

④日本協会の技術関係の先生方を囲む会をやる。

⑤会員同士の親睦を深めるための試合、ハイキング、話し合いなどをやる。

⑥機関紙をつくる

――といったようなことである。いうはやすく、行なうはかたし、で、こうした企画も要するに資金と人手に問題が行きつく。とりあえず、会員の声の反映には、この「バドミントン界」を活用させてもらおうと思っています。

●求む役員会員

現在、会員から会費はとっていないが、協会関係者からは、組織を充実させ、自主的グループとして育てていくためには、当然、会費を集めるべきだ、と助言されている。会を一時的な根なし草に終わらせないためには、考える必要がある。

企画を実行してみよう、役員となって会の運営に力を貸す、という方は、ぜひ協会（本誌の最終ページに書いてある）にご連絡下さい。また、どなたでも電話、手紙等で意見、アイデアをお寄せ下さい。

「友の会」は現在、東京を中心として一ヵ所だけ？　ですが、同じような組織が全国各地に生まれ、競技の発展の力となるよう強く希望しております。

（中田正彦）

かけいれんと筋痛
その誘因と対策を考える

愛知県バドミントン協会
競技委員会、指導委員会（編）

けいれん

〔1〕**定義**

筋肉が急に過度に強く収縮した状態をけいれんという。

〔2〕**症状と原因**

一過性のもので短い時間ではあるが、筋肉が強く収縮するため、運動が突然、阻害されると同時に患部に痛みを生ずる。しかし筋繊維の断裂のものと違って、収縮した筋肉に特別圧痛もなく、むくみや、はれあがることを認めないのが普通である。

運動中に起きることが多いが安静時や睡眠時にも起きることがある。原因等に関してはまだ充分わかっていないが、原因または誘因を考えると次のようになる。

(1)**筋肉が軽度の疲労状態にあるとき**＝筋肉の興奮性は異常にたかまっており、その原因としてエネルギーの代謝産物がたまって筋肉を刺激し、筋肉繊維はその水分が増加して膨大するために、筋肉が充分伸びなくなってしまう。

◉塩分、B_1の補給

(2)**塩分が不足したとき**＝はげしい練習や試合中においては、発汗により体内の水分が欠乏するとともに塩分もまた不足していく。われわれは、汗を1ℓ出すごとに3gの塩分を失っていくといわれている。

筋肉中のナトリュームの減少が筋の活動力を低下させ、けいれんを起こさせる原因となっている。したがって暑いときのトレーニングの時には水分の補充とともに塩分の補充することによって暑さに打ちかつことができるようになる。

(3)**体内にB_1が不足するとき**＝筋肉内のエネルギー代謝過程において、B_1は触媒的作用により消費し、はげしい運動をするほどその量を多く必要としている。運動をするものにとっては、潜在的にこのB_1欠乏症が起こっていると考えられる。

成人では、一日10㎎のB_1をとればよいといわれているが、スポーツマンにあっては、その破壊性を考えて少なくとも倍以上は食べ物として新鮮な野菜をとり、B_1を補充する必要がある。

ビタミンの中には、大量摂取すると障害を起こすものがあるがビタミンB_1にかぎっては思いきって大量摂取した方がよいと考えられる。

冷やさず、締めすぎず

(4)**急激な温度の変化**＝筋肉を冷やしたりすることはけいれんの原因となる。冷やすことの中には大量の汗をかき、そのまま放置することによってかえって心地よさを感ずるときもあるが、気化熱によって皮膚温がいちじるしく低下し、間接的に筋肉を冷やしてしまうことがあるので注意を要する。

また筋の興奮が高まっているとき、すなわち軽い疲労状態にある時にはちょっとした温度の変化に対しても異常に収縮を起こす原因となりやすいので、とくに温度の変化の激しい季節やプール、池、湖、海などにおいては充分注意を要する。

(5)**局所の循環障害**＝靴のひものしめ過ぎや包帯、絆創膏の不適応、あるいは局所の炎症などによって、血流が障害されているような時に起こしやすい。

(6)**準備運動の不適**＝けいれんのくせのあるものでは、特定の筋だけの運動が強要されたり、強すぎたりして急に局所の疲労が招来されやすく、かえってけいれんを誘発する原因となりやすいため、準備体操には充分注意して指導する必要がある。

(7)**その他**＝まったく原因不明によって起きる場合も考えられるが、精査すればほぼその原因が明らかになるものである。

◉ふくらはぎが危険

〔3〕**おこりやすい部位**

腓腹筋（ふくらはぎ）に最も多く発生し、疾走している時、水泳をしている時、あるいは靴ひものしめすぎによる循環障害などによって起こってくる。

また温度の急変や低温時に多い。その他一般に体重をささえているような筋肉、大腿後面の屈筋群や背筋、すべての体の部分の筋肉にもおこる。

〔4〕**処置**

けいれんの定義であきらかなように、筋肉が急に強い収縮をするのであるから、その収縮を静かにゆるめてやることが必要である。

一般的な処置としては

①**けいれんを起こした筋肉を暖めてやる**。たとえば暖い毛布やタオルなどで筋肉を包んでやったり、温湿布や温水につけてやる。

②手のひらでその上から軽くマッサージをしてやる。強く行ってはならない。軽くさすってやる程度でよい。

③解剖学的にその筋肉がゆるめられる位置に静かにもっていく。無理にとか急に動かしてはならない。たとえば腓腹筋ならば足関節を90度、膝関節30度ぐらいの位置にもっていく。この際も暖めながら、軽くマッサージを行なわねばならない。

④以上を徐々にくり返しながら、関節をさらに屈曲していけばよい。次に起こしやすい筋肉について述べると

◉急に曲げてはダメ

※腓腹筋の「けいれん」

①痛みの軽い場合＝腰をおろした位置で腓腹筋を、毛布、タオルなどでおおって手のひらでさすって暖めるか、温湿布や温水で充分暖めるかしてから、ゆっくりと膝関節を曲げていく。軽い場合はこれでなおる。

なおらない場合には、さらに深くまげ、体重を除々に患側の爪先にかけて、足関節を背側に曲げていけばよい。急にやると筋繊維を傷つけるので注意しなければならない。

②痛みの強い場合＝膝を下にして寝かせ、前と同様に軽くマッサージや筋肉を暖めながら膝を曲げてやる。それだけでなおることもある。膝が曲がらない時には曲げられる範囲で曲げ、足関節を背屈させ生理的範囲でしばらく保って、徐々に曲げていけばよい。

※大腿屈筋群の「けいれん」

筋肉を暖め軽くマッサージをしながら腹を下にした位置で、股関節を伸ばし、膝を曲げていけばよい。股関節を伸ばすのは腕立を行なってそっていくか、膝関節にタオルか治療者の正坐した大腿部を入れて高くし、片手で腰部を押さえてやる。その後で徐々に膝を曲げていけばよい。

※足趾の「けいれん」

「けいれん」した跡を背屈させればよい。もちろん温湿布や指先によるマッサージだけでもゆるくできる。

以上の操作によってもなお、なかなかとれない場合は、「けいれん」部の安静を保たせて、温湿布、温浴、マッサージなどを続行しなければならない。

「5」けいれん後の処置

局所に痛みが残ることもあるが、その時は安静を保たせて、温湿布、温浴等、筋肉のマッサージや機能訓練を充分にやっておくことが必要である。

日常の心くばりが大切

筋痛

ふなれな運動や、日常まったく運動をしない人が急に運動を行なったりした後で、筋肉が硬くなる筋痛を訴えることがある。この痛みの発生原因は、筋肉内に新陳代謝産物がたまって、筋繊維の浸透圧が増加し、組織内の水分が筋繊維内に入り込むために筋肉痛を起こしてくるのである。



◉へたすると肉離れ

したがって血行障害が強いときには、運動中、あるいは数時間後から痛み出して数日間も続くことがある。よくトレーニングされた選手でも長すぎる時間や、部分的なはげしい練習によって起こってくることがある。

また筋痛の強いものの中には「肉ばなれ」、すなわち筋繊維の一部の切れたものもあるため、運動中や直後に急にはげしい痛みを起こしたものについては注意を要する。

予防策

筋繊維の断裂のない「けいれん」や筋痛に対しては、筋肉内の新陳代謝の産物を早く流れさすことが最も重要なことである。したがって、マッサージや柔軟体操などによって、筋肉の柔軟性を増し、暖めることによって血液の循環を促進することが必要である。

◉必要、筋の柔軟性

また、前記のように準備運動も決して強いものではなく、常日頃からビタミンB_1や塩分を充分にとり、筋肉を冷やさないように心がけ、筋の柔軟性をおとさないように準備運動や柔軟体操をしておくことが必要である

結び

けいれん及び筋病等の予防は競技者が日常生活において常に心掛けることであるが、特に寮生活、下宿生活等、または食事の変食者は故障をおこしやすいので、今後、競技生活の参考にしてほしい。

法大，中大(男子)日体に好選手

高校・大学トップ級の進学・就職先はここだ

女子・柴山ら東大阪組は三菱電機伊丹へ



ことしも新しいシーズンが始まった。つい先きごろまで、学生選手権や全日本で活躍していたトップ・プレーヤーたちは、社会人一年生として、どこへ就職したのだろうか。そして、また昨夏のインターハイで若い血をたぎらせた、高校選手たちはどこへ進学したのだろうか。

主な顔ぶれを調べ、リストアップしてみた。

高岡市役所パワーアップ

まず、大学生たち。かって本間（トヨタ自工）とダブルスを組んでいた中大主将鷲尾（全日本総合8位）は先輩・遠藤のいる大阪の新興勢力・スワロー化研へ。この社は、以前ほとんど無名に近かったが、昨年、全日本実業団で女子が8位にはいり男子も今後が期待されている。

法大主将・滝野は関西の雄といわれる電電近畿へ。学生選手権複3位の牧野（日大）は故郷の高岡市役所。ここには全日本総合準優勝の今泉・河村がおりチームはさらに実業団の古豪ぶりを発揮しそうだ。

両メーカーもぐんと充実

早大主将の今井は河崎ラケットへ。ベテラン堺（ユ杯コーチ）をトップに、平井、宮川、落合という陣容に加えて、戦力アップが期待される。

全日本学生複2位の名コンビ門間・木戸（日体大）。主将の門間は和歌山県の教員（国体2位）に。パートナー木戸はヨネヤマラケットに決まった。全日本総合1位梅野尾、2位小島のいるヨネヤマであり、ダブルスのうまい木戸が梅野尾と組めばおもしろい。

ユ杯の高坂は故郷でOLに

女子では学生3位、独特のウエスタン・グリップで鳴らした小片（日体大主将）が故郷・香川県の教員に、同じく学生7位だった谷沢（日女体大）も富山県で先生となった。

ユ杯候補の高坂（青学大主将）は故郷、新潟の佐渡汽船でOL生活を送る予定。東大阪短大にも多くの卒業者がいる。

石崎は電電東京に決まる

ユ杯の柴山、高崎、それに学生8位の大場と三人が三菱電機伊丹へ。同社には先輩・池田（もと関西学生女子ナンバーワン）もおり、一躍、実業団の女王候補としてクローズアップされてきた。もう一人、石崎は実業団2位の電電東京へ落ちついた。

大学生の就職さき

〈男子〉

★中大＝鷲尾正一→スワロー化研
★早大＝今井茂満→河崎ラケット、及川憲一→仙台コカコーラ
★法大＝笠井教行→関東自動車滝野公一→電電近畿
★日大＝牧野光男→高岡市役所木村敬次→秋田県庁
★日体大＝門間幹夫→和歌山県教員、木戸純一→ヨネヤマラケット。
★青学大＝笠井好美→日本電装
★日体大＝小片千恵子→香川県教員、横尾節子→神奈川県庁、中村ひさ子→静岡県教員
★日女体大＝谷沢三輪子→富山県教員
★青学大＝高坂薫→佐渡汽船
★東大阪短大＝柴山きよ子、高崎弘子、大場照美→三菱電機伊丹、石崎茂子→電電東京
★昭和女大＝佐々木敦子→坂本香料

〈女子〉

下田、米山(高校一、二位)法大へ

つぎに高校勢。男子ではインターハイ優勝の下田（富山商）

読者の広場

2位の米山（日大山形）が法大に。関東学生リーグは今年度から試合形式を改め6S3Dを4S3Dとし、密度の濃いゲームにする。

コンビに時間がかかり、しかも層の厚い法大では、すぐに出場はできないにしろ、どう育つか楽しみ。複3位のサウスポー木下（高松商）も入学した。

法大とつねに天下を争う中大には5位の試合巧者・中原（高松商）8位のサウスポー山本（新宮）複4位大場（山形工）の三人がはいった。三人三様の持ち味がある。

近大にも好選手が続々登場

高校生として抜群のスマッシュ力を持っていた土田（三条商）は日大へ進んだ。春のリーグから姿が見られるかもしれない。第1シードに推されながら足の故障で、残念ながらベスト8入りできなかった折井（関東学院六浦）一昨年3位の金田（天理）昨年のインハイで土田に敗れたが左の好選手・松口（大宮）らは早大に。

複3位の佐野（正強）は関西の雄、近畿大へ進んだ。ここには中堅選手が多くはいったので楽しみである。

ライバル三人娘が日体大へ

女子で注目されるのはインターハイ上位入賞者が、そろって日体大に行ったことだ。高校生で初めてアジア大会など海外遠征に選ばれた秋本、西尾（四条畷）インハイ2位の佐伯。ともに中学以来のライバルであり、今度、同窓でその力をどうのばしていくか期待される。

単3位の古谷（奈良一条）8位で陣内の後輩・谷（成安女）など、そうそうたる顔ぶれも日体に集まる。レギュラーの座争いが大変なことになりそうだ。

複3位で健闘した名門・善通寺第一の白玖は、エース高坂が脱けたあとの青学大に進んだ。



（上）インハイ1位の下田（左）と2位米山（下）は女子No.1秋本



各大学の新戦力

〈男子〉

▼法大←下田春樹（富山商）米山正和（日大山形）木下元則（高松商）湯谷正秀（鳥取西）王川幹男（会津）菊地考則（会津）

▼中大←中原敏和（高松商）山本茂樹（新宮）大場和博（山形工）

▼日体大←竹林良明（坂出商）北山公典（富山商）仁木尚詩（日和佐）上田進（留萠）杉浦（新発田）

▼青学大←遠藤正弘（聖学院）笠野孝男（石橋）

▼関東学院大←小林良雄（逗子開成）竹内耕三（兵庫星陵）柴田雅明（立野）熊谷俊行（江別）三浦（八戸）

▼日大←土田証雄（三条商）佐野直行（吉田商）山本勉（甲府商）秋山健士（甲府商）高本一男（大聖寺）畠茂光（高岡商）山内卓也（盛岡第四）

▼早大←折井直則（関東学院六浦）金田竜造（天理高）松口金彦（県立大宮）高木勝弘（札幌西）

▼明大←中山孝一（福岡明善）佐久間政広（千葉京葉）

▼近大←佐野弘（正強）瀬良信明（布施工）原正人（金沢）原誠（松江商）平瀬博俊、汐崎修二、森章（新宮）佐藤純（天理）中尾善紀（近大付属）

〈女子〉

▼日体大←秋本八代美、西尾真理子（四条畷）佐伯智子、古谷成代（奈良一条）谷美津子服部直子（成安女子）大塚（大聖寺）

▼日女体大←林寿美子、平田喜久江（山陽女子）山口みどり（仙台女子）平野やす江（木更津東）桝谷美智子（尼崎西）鎌田三枝子（鉾田二）

▼東女体大←市村政子（甲府二）当摩英子（川越女子）大川忍（山形鶴岡北）佐藤京子（専大北上）関口（千代田女学園）

▼青学大←白玖里子（善通寺第一）松村香住（七尾）高橋真智子、稲垣和美（千代田女学園）

▼昭和女大←大野みどり（石岡第二）

みんなの努力で向上を

――残念だったデンマーク戦――

観客マナーも国際的にしよう

待望のデンマークとの親善試合が無事、成功のうちに終了したことは、参加した一選手として、大変、うれしく思う。

ただ、残念なことに、ひとつだけ、今後、日本のバドミントン愛好者たちが改善していかねばならない問題が起きてきた。それは観衆のマナーである。

正直いって、今回はデンマーク選手たちのアピールで、しばしば試合が中断されたほどで、大阪、東京、横浜のいずれもが落第であった。

関係者のある役員は「大勢はいったのだからしかたがない」とあきらめ顔をしていたが、七、八千人が見守る全英でさえラリーが始まると、選手の息づかいが聞こえるほどの静けさなのだから「静かにして」というのは、日本でも決して無理な注文ではないと思う。

反面、観客側としては「選手がすばらしいプレーをすれば、静かに見るようになる」と反論するかもしれない。しかし、選手たちも、周囲のことを気にしないで一生懸命やっていても、やはり人間、ざわついた空気に反応するのも、やむを得ない。

神経をとぎすましている場面であればあるほど、選手も気になる、という心情は理解してほしい。

ある会場では、こんなことがあった。母親につれてこられた幼児が観覧席をとびまわりはじめ、その姿のあどけなさに見とれた観客が、思わず笑い出してしまった。試合中でなかったらこれは、ほほえましい光景だろうが、この場合は「否」である。

母親は厳しさをもって子供を制止すべきだし、それでもダメなら、ただちに外につれ出すのがエチケットであろう。現実には、残念なことに、そのような結果にはならなかったようである。

これは一例だが、もちろん、その他の点においても、いろいろと配慮が必要だろう。観覧席への出入りは、当然、ゲーム中は遠慮すべきだろうし、もちろん、ラリー中は、どんなことがあっても、席を立つべきではないと考える。

つきつめていくと私たち日本人にはスポーツを見るマナーが確立されていない。大切なのは「よい試合を見る」のではなく「よい試合ができるよう、観衆がふんいきをつくってやり、あたかも自分がプレーしているかのような気持ちになる」ことである。

そうすれば、ファインプレーには、自然に拍手がわきおこり緊張した長いラリーのあとにはどこからともなく、深いタメ息が出てくるだろう。

ともあれ、これを契機に、一日も早く、そんなすばらしいふんいきの大会が生れるように努力しなければ、日本は名実ともにチャンピオン国として、世界に誇ることはできないだろう。

（中山紀子）



▲デンマーク戦のベンチで中山選手

編集部から――この手紙は中山選手が海外遠征（デンマーク、英国）前の多忙なひとときを割いて、本誌に投稿されたものです。

対デンマーク国際試合のさいのスタンドのマナーについては前号でも二、三の人々が触れていました。ことさらかしこまる必要はありませんが、観客もまた試合の〝参加者〟エチケットを守り、楽しいムードで選手の身になって応援しましょう。

バドの新聞切り抜き送ります

前略、最近、新聞でバドミントンの英国での大会のことを書いた記事を読みました。すごくうれしかったので、記事を同封します。

だけどバドというスポーツほどマスコミに騒がれないものも珍らしいんではないでしょうか。なぜですか。世界のどこに出してもはずかしくないほど強いのに、大会の結果の情報などが私たちの耳にはいりにくいでしょう。新聞社もテレビ局も頭にくるのです。ホントにモー。

今まで二、三回テレビでとり上げられたそうですが、そのたびにドジなワタクシメは見のがしております。編集部の皆様、またいつかTVの予定がありましたら忘れずに教えて下さい。

（札幌市南9条西4丁目、長谷川郁代）

編集部から――切り抜きありがとう。本号を見て下さい。二番目のあなたの意見は全く同感TVの件と合わせ今後も努力し協会のえらい人にも伝えます。

読者の広場

▶ユ杯入場券5月1日から発売◀

決勝S席は1,500円に

他は1,000円，500円，300円



前号で読者から質問のあったユーバー杯の入場券について、値段がきまりましたので、お知らせします。

▽6・7・8日＝千円、五百円、三百円▽11日＝千五百円八百円、五百円

▽発売予定＝五月一日から都内主要プレイガイド、朝日サービスセンター。ただし京浜地区以外の地方の方々からの申し込みは、日本協会で受け付けます（東京都渋谷区神南一ノ一ノ一、岸記念体育会館内、日本バドミントン協会。〒150）

ただし、郵便による申し込みは、受け渡しのさいの事故を防ぐため、次のようにします。五月二十日限り。

①希望日と券の種類、枚数、住所氏名をはっきり書き

ユ杯シンボルマーク

②返信切手代および書留料金として百二十円分の切手を同封

なお、日程は次のとおり。

▽6月6日＝インドネシア×カナダ▽7日＝日本×デンマーク

日本協会でも地方から申込受け付けます

但し5月20日消印まで、書留料同封して

▽8日＝ニュージーランド×6日の勝者▽11日＝決勝（時間は決勝以外は四時、決勝は二時

そのほかユ杯準備は次のようにに着々と進んでいます。ざっとお知らせすると、

①シンボル・マークは、誌上に掲載したものと決まりました。6本の輪は〝第6回〟を意味し、形はシャトルコックが遠くからだんだん近づく形を象徴しています。

②ポスターは前回同様、相沢マチ子、竹中悦子のコンビをモデルに製作中。B全版四千枚をつくり、首都圏を重点的に掲示する他、各府県協会IBF加盟国へも配布し大会のムードづくりに一役買う。

③プログラムは表紙をポスターと同じ構図にし内容は、プログラムという概念を超えた漸新なスタイルとなる予定。各国エントリー（参加者リストと資料）が非常に遅れると予想されるため、日本以外のリストは、別刷りのはさみ込みとする。

④大会テーマカラーはブルー系統に統一する。以上、撮影、製作担当は本誌表紙でおなじみの松井亮磨、小浜正道両氏の名コンビです。



国際女子バドミントン競技大会

28日PM5時半　大阪中央
30日PM2時　代々木第二
2日PM6時　横浜公園

「平凡パンチ」にのったデンマーク戦ガイド

読者の広場

日曜クラブを教えて下さい

拝啓　先日、女子チャンピオンズ・トーナメントを見物させてもらいました。選手、役員の皆様のあたたかい気持ちに触れ深く感動しました。

私もバドミントンが好きですが、社会人となってから、すっかりラケットを握らなくなりました。最近またやってみたくなりましたが、自由な時間が少ししかありません。

そこで①日曜日にバドミントンの練習をやっている東京都でのクラブおよび体育館、または団体名をお知らせ下さい。②またバドミントン協会にはいるには、どのような資格が必要でしょうか、おいそがしいと思いますがぜひ、ご返事下さい。（東京都三鷹市上連雀5の20の5、薄田満里雄）

編集部から——まず、チャンピオンズ観戦の件、おほめいただいてありがとう。お礼を申し上げます。そこで二つの質問のご返事ですが、①については紙数の関係でここでは略し、直接あなたにご返事します。一般論でいえば、日本協会では、組織の下までのことはつかめませんので（イ）東京都協会に聞く、（ロ）そこでわからなくても、自分の住む町の協会（あなたの場合は三鷹市）を聞き、そこで具体的に紹介してもらう——のが早道です。これは全国どこに住んでいる人の場合も大体、共通と思って下さい。

次に②は年齢が高校生以上なら、むずかしい資格はいりません。しかし、協会にはいる場合は、地区（市区町村）↓都道府県↓日本協会の順序がありますので、まず地区協会に申し込むことです。くわしくは、その協会にお聞き下さい。いずれにしろ、数百円（年間）の登録料が必要です。

★求むペンフレンド　バドを愛しアドバイスを交せるような女性のペンフレンドを（岡山県総社市槇谷3693平田博文）

★編集部から——愛読者の皆さん、ご返事して下さい。



競技規則の新版発売中

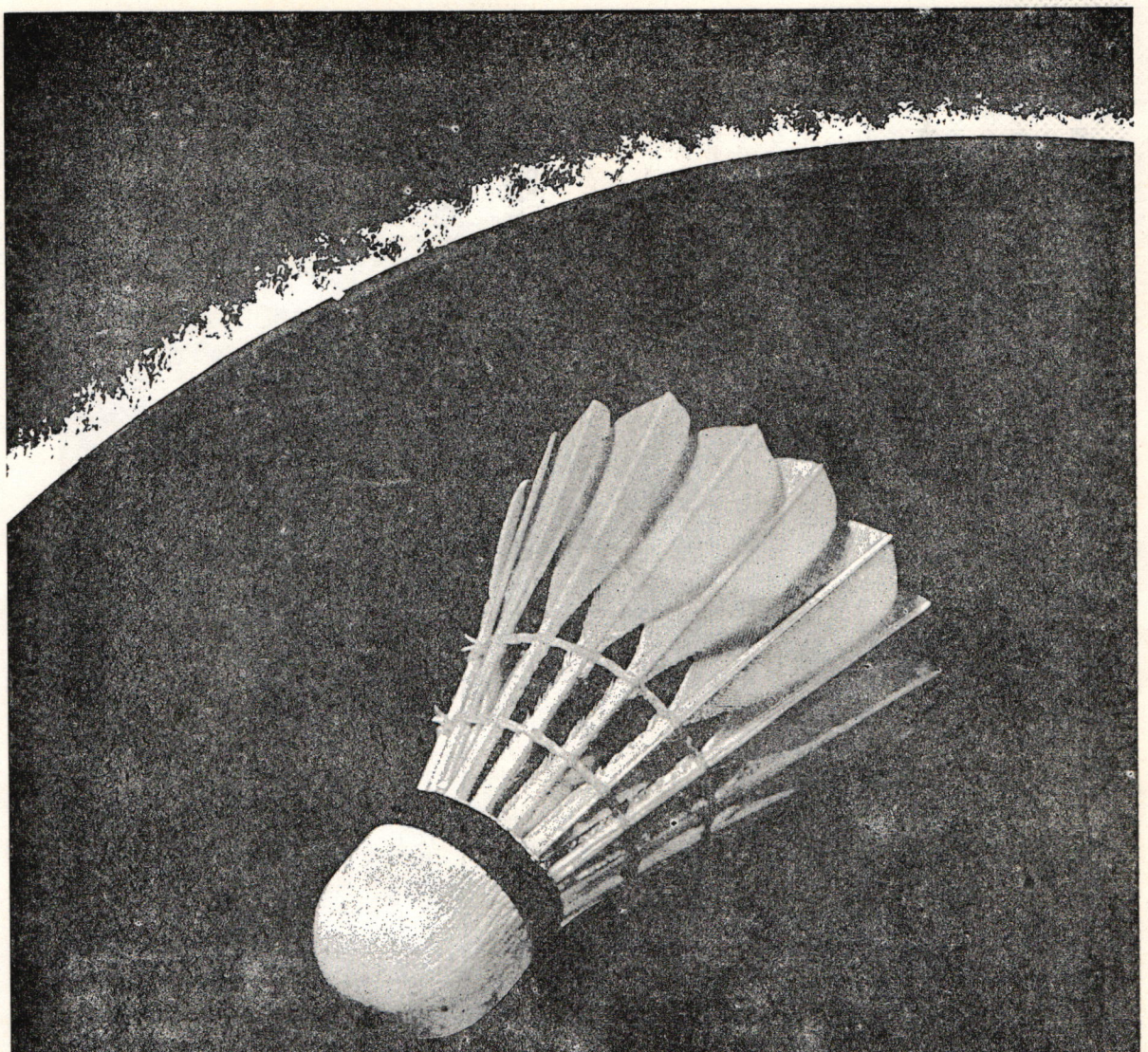
日本バドミントン協会の競技規則（国際連盟規則に準拠）の改正新版が出来上がりました。昨秋から改正になった新ルールを盛り込んだもので、日本協会主催（または主管）の大会運営規定、審判用語がついています。実費一部百円（プラス送料二十五円）でおわけします。申し込みは日本協会へ。

水鳥　検定合格球
ファストゴールド
ファストシルバー



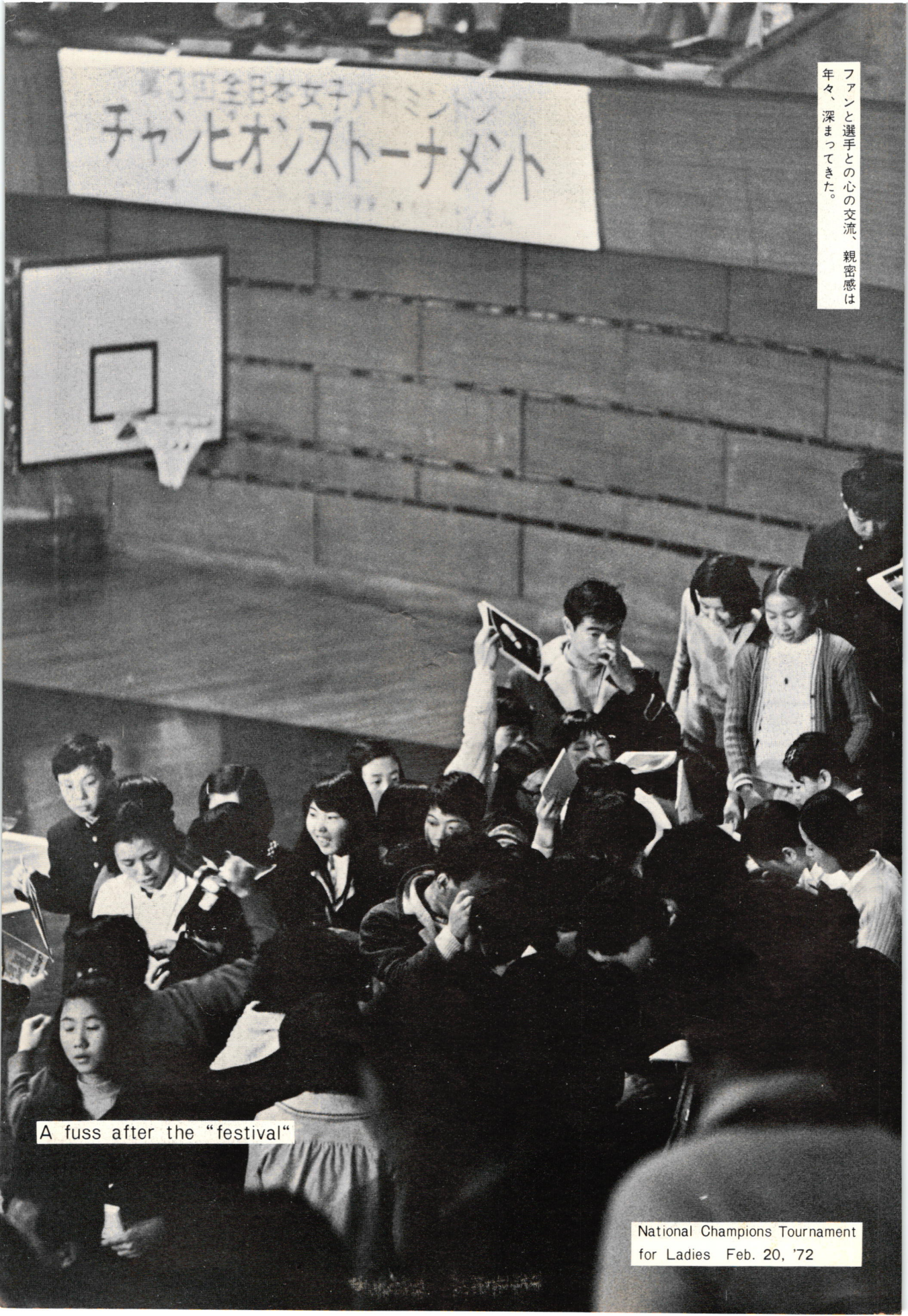


ファスト印シャトルコック製造発売元　有限会社　ジャワ商会
山形市六日町7 28
電話 02362（22）3994(代) 3280・0545



新しい現代に生きるあなたの
「心」を捉えて離さない
――――サンバタキング――――

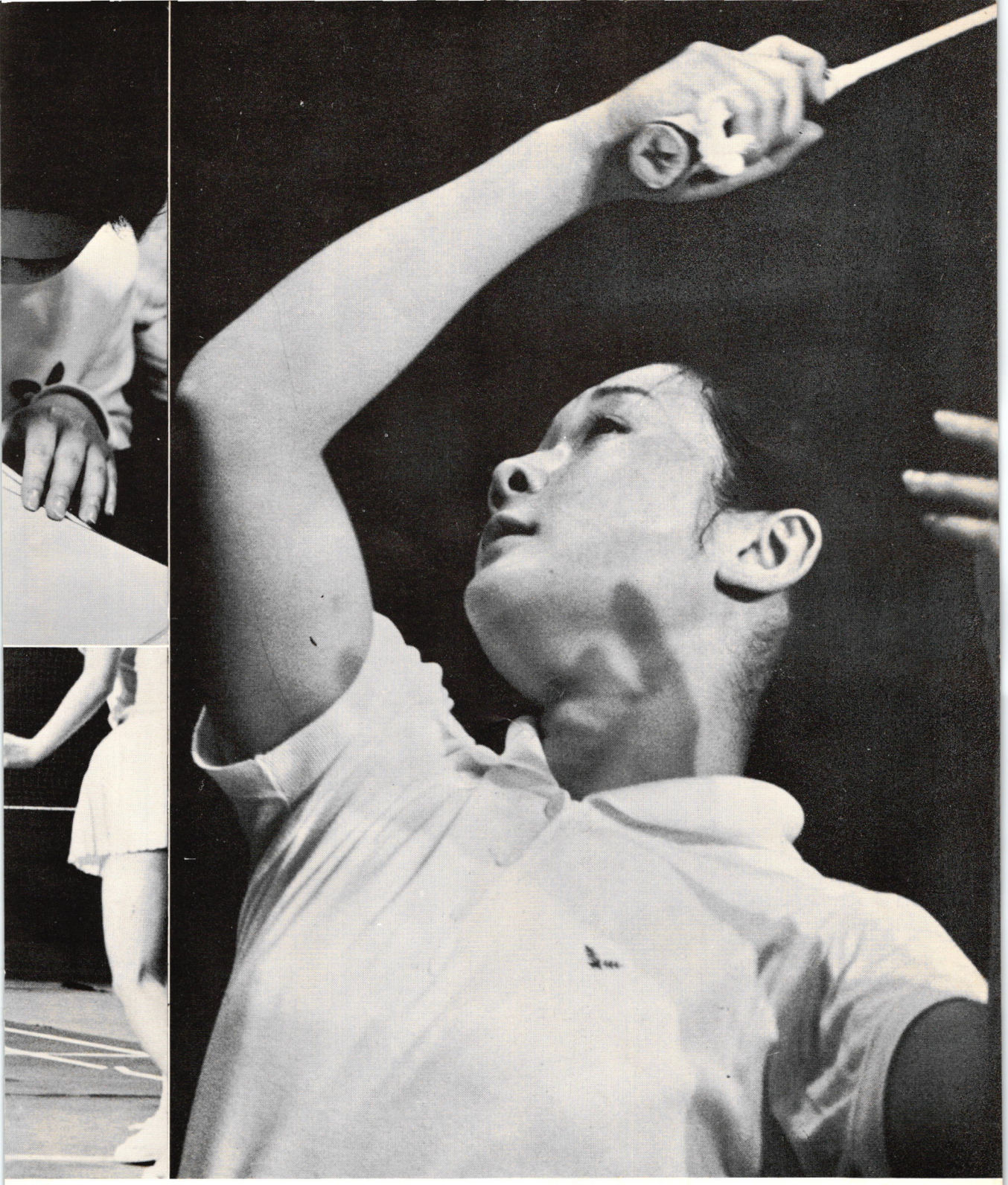
サンバタ



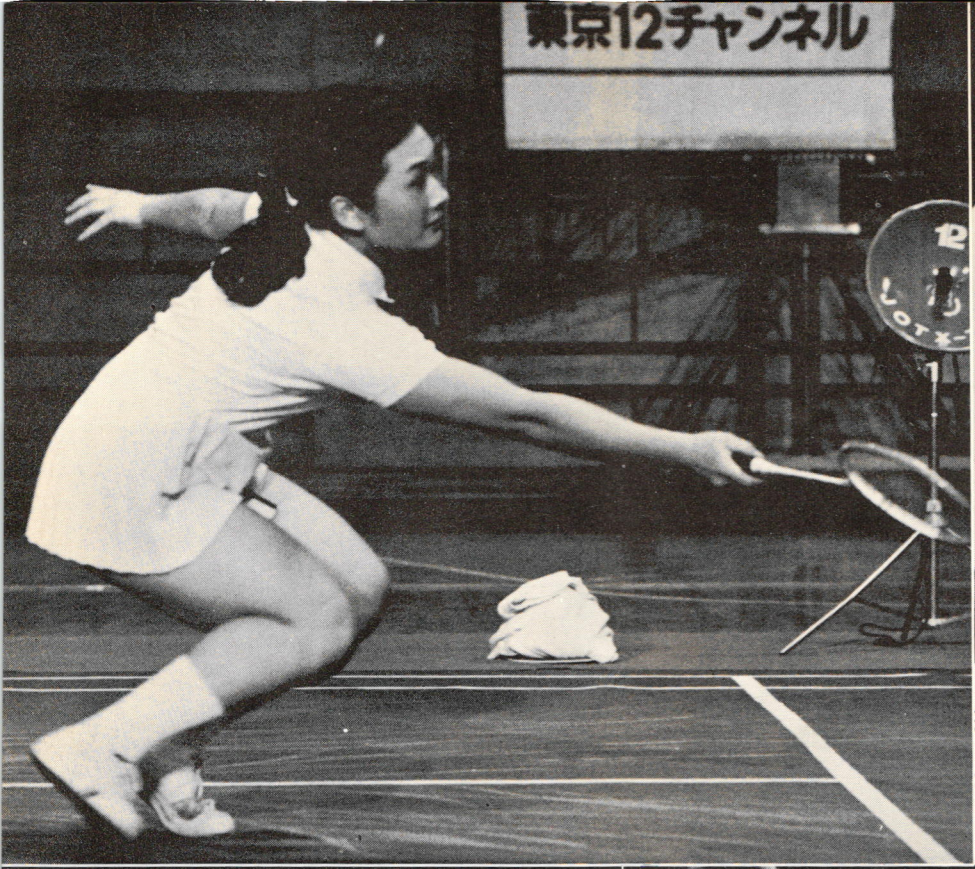
ファンと選手との心の交流、親密感は年々、深まってきた。

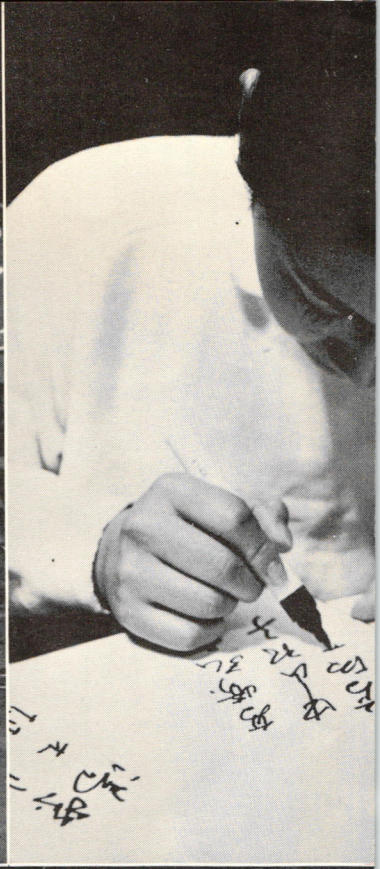
A fuss after the "festival"

National Champions Tournament for Ladies Feb. 20, '72

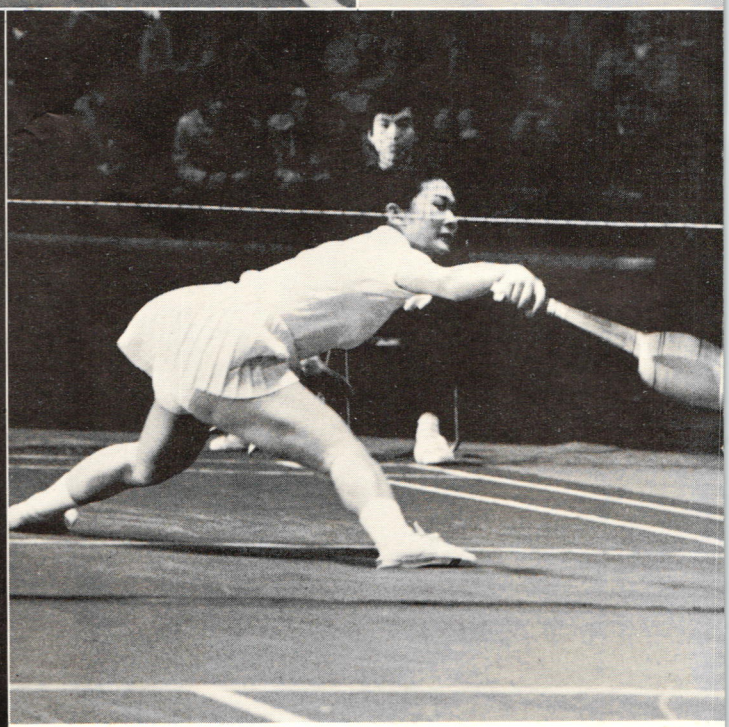


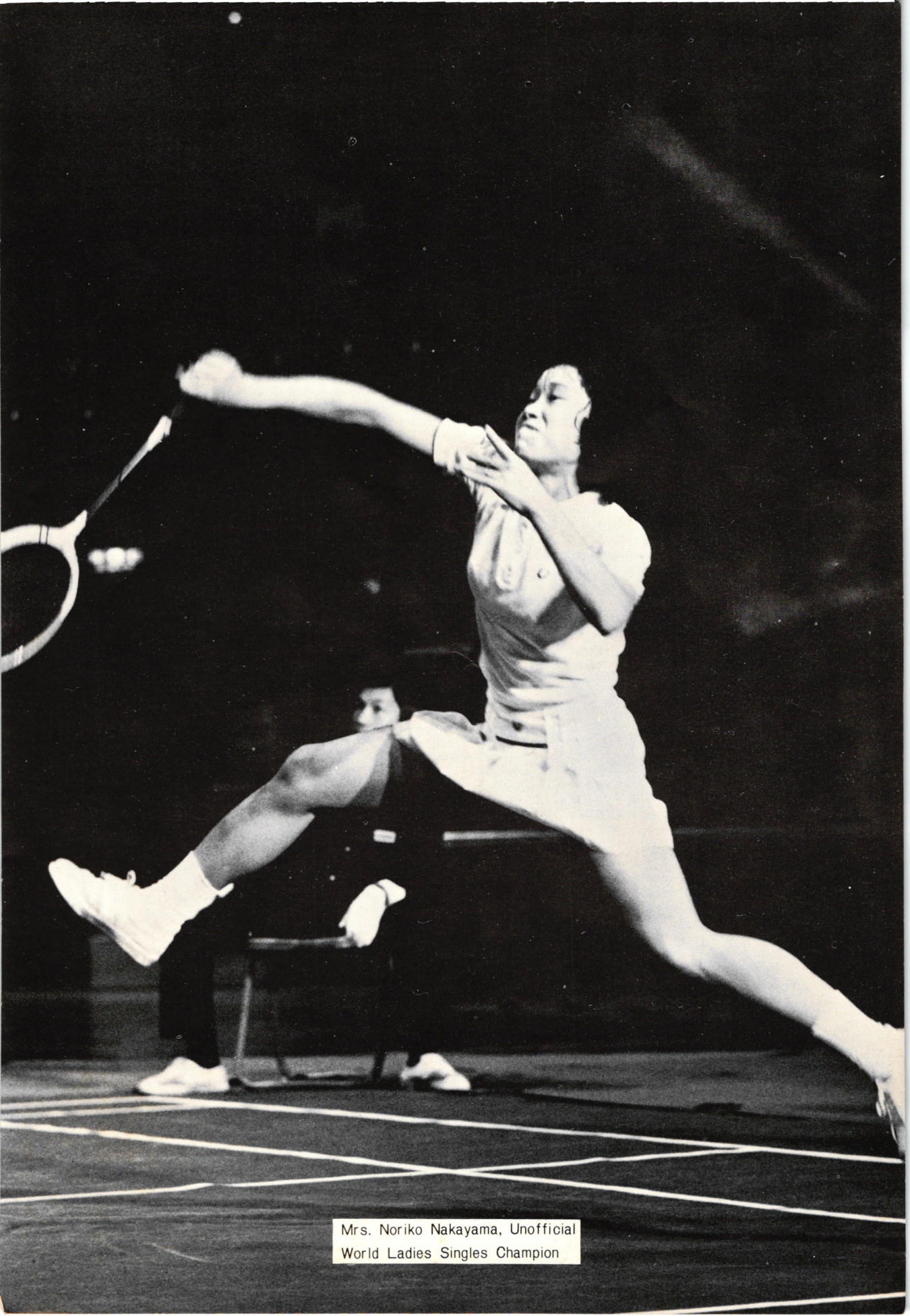
Uprising and determined hope Miss Kaoru Takasaka, who specializes English course in college, is a "secret weapon" for Japan's Uber Cup Squad.


東京12チャンネル









Mrs. Noriko Nakayama, Unofficial
World Ladies Singles Champion

Battles between "Queen"
and her Successor



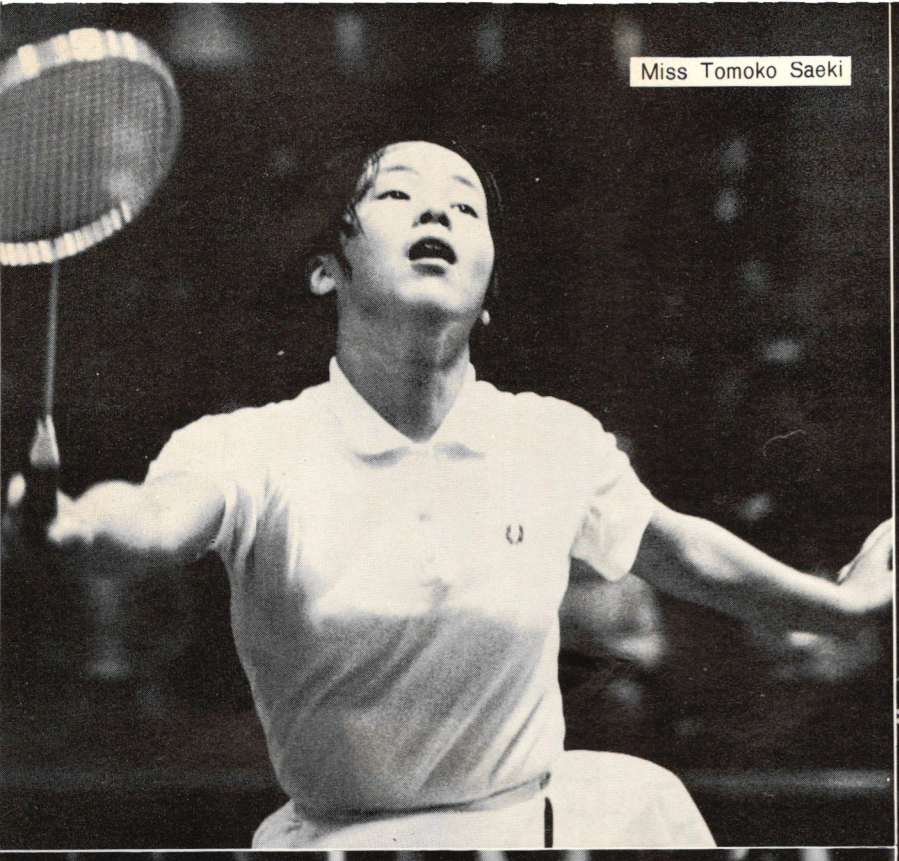


Miss Hiroe Yuki, in the light and shadow

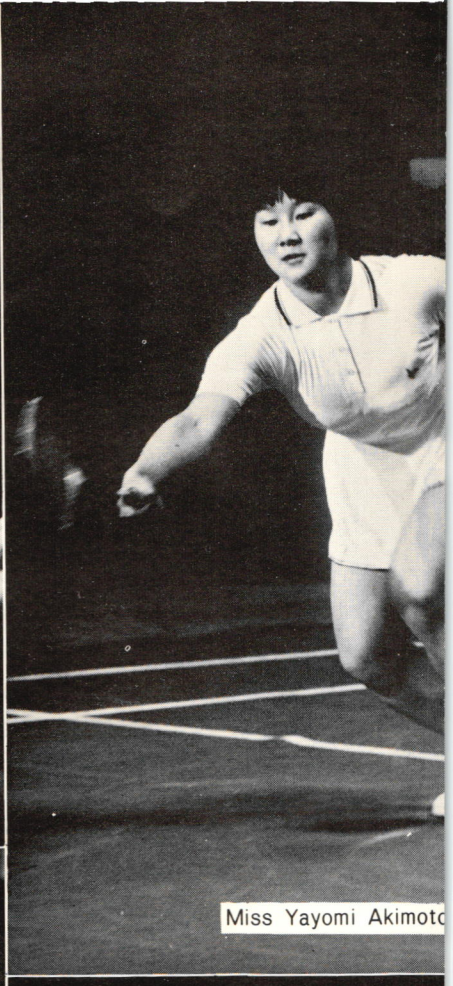


Miss Hiroko Takasaki

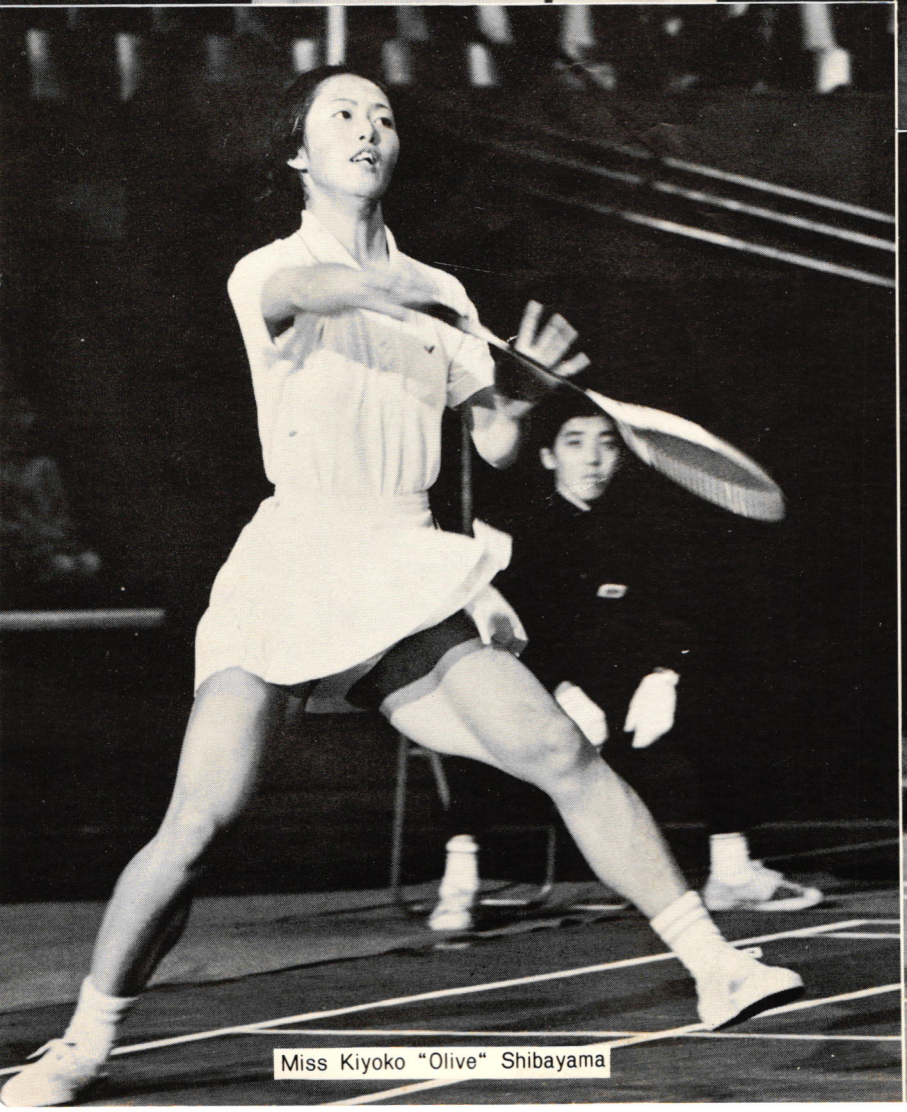
Emerging New Stars who enlisted
in the National Rosters



Miss Tomoko Saeki



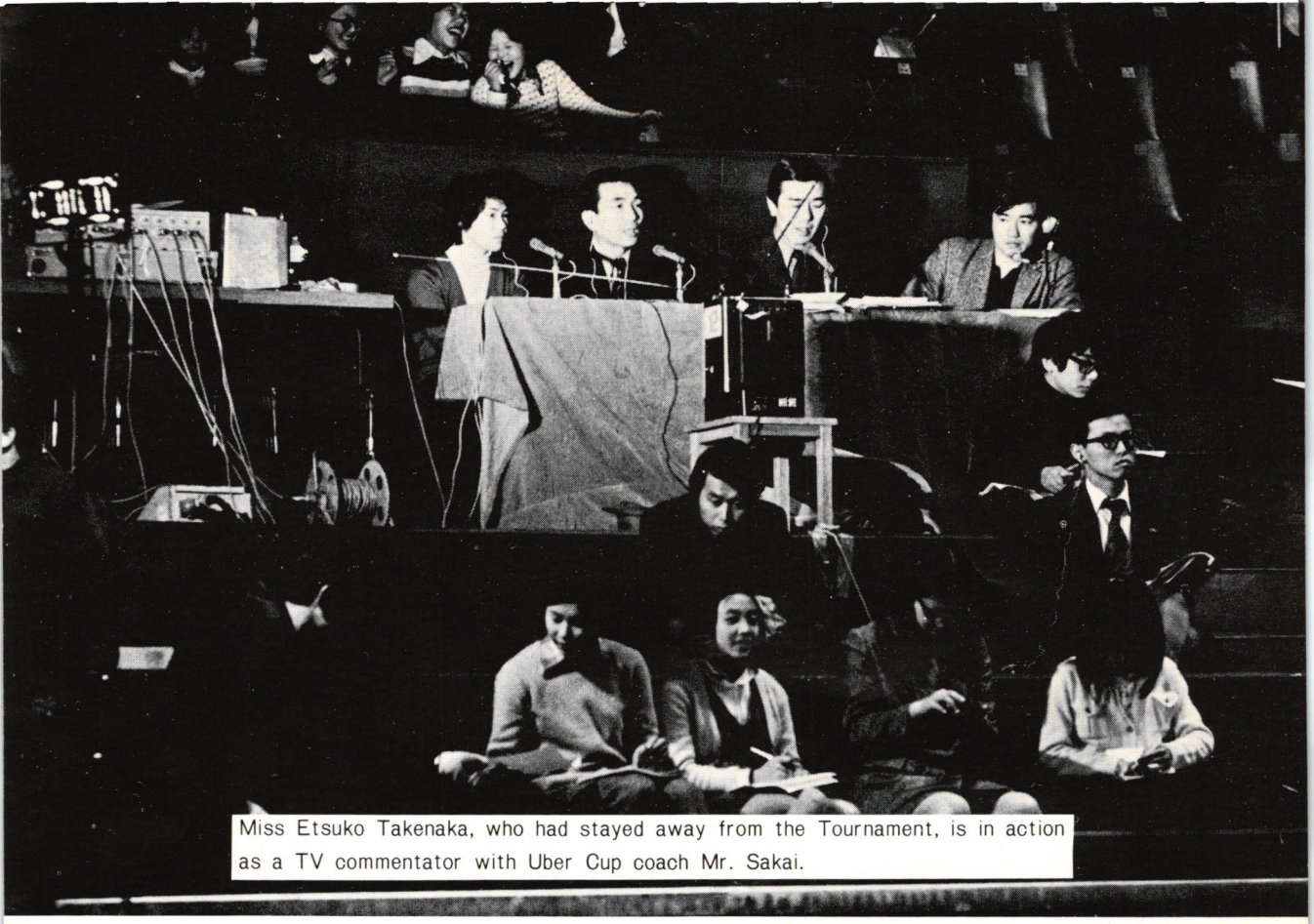
Miss Yayomi Akimoto



Miss Kiyoko "Olive" Shibayama



Miss Emiko Horikawa



Miss Etsuko Takenaka, who had stayed away from the Tournament, is in action as a TV commentator with Uber Cup coach Mr. Sakai.



Boys and girls are enjoying the play just after the Champions Tournament is over, in the same court where their "idols" had battles.

昭和47年度用具検定会合格用具

日本バドミントン協会用具委員会

シャトルの部	銘柄名	会社名	予定小売価格
(水鳥)	№200 O.G.S.ゴールド	大阪合繊株式会社	1,900円
	№205 O.G.S.シルバー	大阪合繊株式会社	1,750
	エリート デラックス	河崎ラケット工業株式会社	2,300
	エリート トップ	河崎ラケット工業株式会社	1,950
	サンワ印 ハイレッド	株式会社 三和	1,900
	水鳥ファスト ゴールド	有限会社 ジャワ商会	1,800
	水鳥ファスト シルバー	有限会社 ジャワ商会	1,650
	トーナメント ブラック	株式会社 トヨダスポーツ	1,800
	トーナメント ブルー	株式会社 トヨダスポーツ	2,000
	ホワイトジェム	株式会社 トヨダスポーツ	2,250
	C.M.印 ホワイトウイン	日本バドミントンインダストリ株式会社	1,500
	C.M.印 シルバーブルー	日本バドミントンインダストリ株式会社	1,400
	C.M.印 ゴールドブルー	日本バドミントンインダストリ株式会社	1,200
	ハタチ・ビクトリー	羽立工業株式会社	2,400
	水鳥サンバタ スター	株式会社 諸江製作所	2,300
	水鳥サンバタ キング	株式会社 諸江製作所	1,950
	水鳥サンバタ クィーン	株式会社 諸江製作所	1,800
	トーナメント デラックス	株式会社 ヨネヤマラケット	2,300
	トーナメント	株式会社 ヨネヤマラケット	1,950
(陸鳥)	陸鳥ファスト検定球	有限会社 ジャワ商会	1,100円
	陸鳥ハタチトーナメント	羽立工業株式会社	1,800
	陸鳥サンバタ	株式会社 諸江製作所	1,150
	陸鳥サンバタ B	株式会社 諸江製作所	1,150
	トレーニング検定球	株式会社 ヨネヤマラケット	1,150

ネットの部	銘柄名	会社名	予定小売価格
	ナイロン A 15本	鐘屋産業株式会社	3,000
	ビニロン B 12本	鐘屋産業株式会社	2,500
	70—2112 (210ビニール12本 ナイロン・テトロン引紐)	株式会社 ジイテイヤング	2,800
	70—3115 (20番手12本綿, テトロン引紐)	株式会社 ジイテイヤング	2,500
	70—3015 (20番手12本綿, クレモナロープ引紐)	株式会社 ジイテイヤング	2,200
	バドミントンネット KT—518 ビニロン	株式会社 寺西喜商店	2,400
	20番手12本 倉敷ビニロン	松本製網株式会社	1,900
	ミセキネット No.50 VA	ミセキネット製作所	2,800
	ミセキネット No.52 A	ミセキネット製作所	2,200

バレーボールが日中交流に正式調印

スポーツ界の動き，一段と活発に

IF総会で〝台湾除外〟提案も

スポーツ界の日本交流の動きが一段と活発になってきた。一連のニュースについては本誌でもしばしば紹介してきたが、最近、バレーボールが交流の文書に調印、卓球についで今夏、訪中することが決まった。スケートも夏の初めから具体的な交流日程の検討を進める手はずである。バスケットでは実業団チームに訪中の意志があり、協会もこれを認める方針。トップバッターの卓球も、後藤・前会長が切り開いた道を進むことを決めている――。

五輪前にまず訪中

招待は十月・全日本男女を送る

バレーボールは三月二十四日北京で〝対日政治三原則〟にもとずき、日中のスポーツ交流を再開（文化大革命前はやっていた）するという協定に調印、共同声明を発表した。

バレーボールは本誌でも既報のように、昨年春から交流のための折衝に乗り出していたが、協会の内部事情などもあって成案を得るのに時間がかかっていた。しかし、ようやくメドがつき、三月中旬、岡田日本協会理事長、鵜月国際部長（副理事長）が訪中、数回にわたって会談した結果、意見が一致した。

当面、交流の一番手はじめとして、ミュンヘン五輪前の七月（十三日出発、二十五日帰国）に全日本男女チームが北京を訪問して親善試合を行なう。またミュンヘン後、十月（二日出発、二十日帰国）には中国側代表を招待、日本各地で五、六試合行なうことが決まった。

このほか、ママさんバレーの代表を交流させることも話題となったが、具体的には今後、さらに検討を重ねることにした。

〝三原則〟を了承することは台湾をＦＩＶＡ（国際バレーボール連盟）から除外することにつながるが、日本協会はこのため行動するハラを固め、九月のＦＩＶＡ総会に「中国招請、台湾除外」を提案する方針。すでにＦＩＶＡ加盟40カ国にこの趣旨を申し入れている。

スケート近く具体化

バスケットも歓迎の意向

スケート界も近く具体的な交渉にはいることが決まった。スケートの国際組織はＩＳＵ（国際スケート連盟＝スピード、フイギュア）とＩＩＨＦ（国際アイスホッケー連盟）の二つに分かれている。

しかし、中国はこの二つに加盟しており、台湾はそのどちらにもはいっていないところから日本スケート連盟は早い機会に交流しようと希望していた。そして、日本側の意志を伝えたが「国際組織と台湾とが直接、関係なくとも交流には〝三原則〟が前提である」と回答された。

このため、三月五日の会議で三原則承認を決議、このむねを中国に伝えるとともに、六月の連盟代表委員会（総会にあたる）で具体的スケジュールを検討することにした。

日中スポーツ交流の窓口・日中文化交流協会によれば、これについて中国は「日本の態度に敬意を表する」（宋中・中華全国総会秘書長）と前向きの姿勢である。

なおバスケットボールでは男子、全日本二位の強豪、日本鋼管チームが訪中したいと、日中文化交流協会を通じて申し入れた。これについて日本バスケットボール協会の牧山理事長は「歓迎すべきことであり、協会に申請があれば認める」と語った。バスケットは協会として具体的なことは決めていないが今秋台湾で行なわれる女子アジア選手権には参加しない予定。

卓球界は〝後藤路線〟を踏襲

一方、卓球界は後藤会長が急逝のあと、日中問題について検討した結果「当然、後藤路線を引き継ぐ」ことを決めた。

これにもとずいて、日本卓球協会の城戸、山本両副会長ら首脳部四人が訪中、予定どおりに①日本、中国、朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）が中心となって、台湾を除く、新しいアジアの連盟組織をつくるよう活動する②日中交流は同様、進めていく――ことを確認した。手はじめに、五月、中国チームが来日、東京など各地で試合する。

〝日中交流〟再検討へ

総会で決定、常務理事会に具体策一任

〝日中交流〟問題は常務理事会の手で、さらに検討を重ねることになった。

前号で報じたように、日本協会の一月総会は、日中問題をとり上げたが、日中交流部会の答申について、再検討を望む声が強く、今後の審議を常務理事会に付託した。

交流部会は①できるだけ早く交流を実現する②交流の第一歩は招待③中国のＩＢＦへの加盟を呼びかける――という趣旨を総会に答申した。この間、常務理事会、総会直前に開かれた理事会はこの答申を了承していたが、総会では異見が出された。

問題は〝対日政治三原則〟の扱い。中国との交流には、この三原則を受け入れることが前提だが、その場合、台湾をＩＢＦ（国際バドミントン連盟）から除外することがポイントになる。実際問題としてかなりむずかしく、日本がかりに働きかけても、成功するかどうか。へタすると日本自体がＩＢＦの中で批難される場合も考えられる。

事実、これについては、いろんな日本の競技団体が苦慮しており、バドミントンとしても、簡単にことを急ぐのは、かえってマイナスという感じでとらえられた。

しかし、総会が昨年七月の会議で「早急に検討すべし」「そのための研究機関をつくれ」と満場一致で決めながら、今回、その答申を受け入れることができなかったのは、全く残念なことである。

また、答申は当然、交流部会から総会へ、報告の形で行なわれるのが筋だったのに、常務理事会が、それを肩代わりして提案の形をとったため、常務理事会が、再検討を一任されることになったのも、遺憾なことであった。

常務理事会は三月の定例会議でこれをとり上げたが、常務理事会自身が、六月ユーバー杯の実行委員会となっているため、具体的に検討するにいたらず、実際には大会終了後から討議にはいる見通しである。

これにより、日中交流の実現性は、当初、考えられていた時点よりも、遅れることが確実となった。

カナダが提案か

台湾問題　ＩＢＦは擁護

最近の情報によると、今夏のＩＢＦ（国際バドミントン連盟）総会の席上、カナダが〝中国の加盟促進、台湾除外〟を提案するという話である。

カナダは中国とのスポーツ交流について、最も積極的な国ですでにバドミントンで交流を実現している。この情報によるとカナダが他のいくつかの友好国とともに、バドミントン以外の競技でも、中国を国際連盟に加盟させるため、働きかけるといわれる。

なお、中国が現在、加盟しているＩＦ（国際競技連盟）はスケート（スピード、アイスホッケー）卓球の二つである。

一方、最近、ＩＢＦから各国に送られてきた回状（サーキュラー・レター）では、ＩＢＦは「台湾はこれまでメンバーとしての義務をはたしており、除外の対象にならぬ」としている。

後藤愛知県会長逝く



後藤鉀二氏（愛知県協会会長、日本卓球協会会長）一月二十二日、心臓疾患のため名古屋市岡山病院で死去、65歳。

後藤氏は卓球界育ての親として、昨年三月、名古屋で世界選手権を開催、米中交流のきっかけとなった〝ピンポン外交〟に偉大な貢献をなしとげた。

一方、愛知県バドミントン協会会長の立ち場から、数次にわたる卓球の中国との交渉の中で、バドミントンの日中交流に関しても、中国側の実情収集や意向打診を行ない「卓球のつぎはバドミントン」と積極的な姿勢を示していた。

葬儀は二月二日、経営する名古屋電気学園・日卓の合同葬として名古屋市日泰寺で行なわれ、告別式には一万余が焼香、故人の冥福を祈った。日本バドミントン協会からも、川端理事長ら代表が参列した。

惜しい人をなくした

東京新聞運動部・後藤記者の話　洞察力に富み、決断力があって、自分の考え方でぐいぐいリードしていく人だった。バドミントンの日中交流についても私が記者として雑談の席上で出した問題提起を受け、卓球の仕事で多忙ななかを、一生けんめい可能性を調べようと努力されていた。惜しい人をなくした。

普及・強化に特別会計新設

47年度予算　前年比340万円の増

47年度の日本協会の予算が一月総会で別表のように決まった。一般会計一千一百九十九万四千円、特別会計三百四万円の合計一千五百三万四千円。前年度にくらべて三百三十七万四千円の増加（規模拡大）となっている。

本年度の最大の特色は選手強化と指導普及のために特別会計を新設したこと。これまで一般会計にふくめていた競技力向上の体協からの補助金（本年度は百九十万円）と日本協会が支出していた競技力向上費を合わせて設けたもの。

ト杯、ユ杯の合宿やトップ級の海外派遣費、本年度から始まった地区ごとの高校選抜合宿、公認指導員講習会などの費用にあてられる。高校合宿費は全国選抜が三十四万円、ブロック合宿費の補助が三十六万円。公認指導員養成には八十万円の予算を計上している。

日本体育協会の他の加盟団体にくらべると、とぼしいお台所ながら、前年度よりは前向きで意欲的な予算編成といえる。

一般会計は収入を向上させ、極力、支出を切りつめる姿勢がややはっきりしてきた。

収入の部では、まず会員登録料の値上げで百五十万円の増収を見込んでいる。しかし、この予定は一般登録八千人、高校生登録一万三千人の計二万一千人を見込んだものである。四十六年十二月末現在の登録数一万九千余人（本誌前号参照）より二千人ほど、登録をふやさなければならない。このためには、地方協会の絶対的な協力が必要とされる。このほか用具の審査費と繰越金が増を見込まれるが、いぜん各競技会で〝興業収入〟をアテに出来ぬ弱さは致命的。

支出では第二回中学大会の補助金を十万円から四十万円にふやしたのが目立つ。一方では諸会議、専門委支出をへらした（総会、理事会費のみ増）。

〔収入の部〕　（数字は単位千円，△印減）

	予　算	前年比
総務収入	**3,980**	**1,500**
分担金	1,080	…
登録料	2,900	1,500
補助金	**600**	…
事業収入	**6,160**	**330**
シール代	3,720	…
審判公認・審査	520	△ 30
指導員公認料	80	80
用具審査費	400	200
用具推薦費	1,200	…
印刷物収入	240	80
競技力収入	**0**	**△ 1,900**
大会収入	**200**	…
国際交流積立	200	…
雑収入	**354**	**△ 296**
ユ杯分担金未収等	254	△ 296
雑収入	100	…
繰越金	**700**	**700**
計	**11,994**	**334**

〔支出の部〕　（数字は単位千円，△印減）

	予　算	前年比
総務費	**7,825**	**765**
諸会議費	2,175	115
運営諸費	5,650	650
事業費	**2,200**	**△ 300**
全日本総合費	250	…
中学大会補助金	400	300
高校大会補助金	150	…
学生大会補助金	150	…
社会人大会補助金	100	…
実業団大会補助金	100	…
教職員大会補助金	100	…
6大会役員派遣費	150	…
諸委員会費	800	△ 600
競技力費	**0**	**△ 1,500**
雑支出	**1,840**	**1,340**
雑支出	700	200
特別会計補助	1,140	1,140
予備費	**129**	**29**
計	**11,994**	**334**

＊特別会計　（新設）

〔収入の部〕

体協競技力補助金	1,900
一般会計振替補助	1,140
計	**3,040**

〔支出の部〕

海外派遣，合宿費等	1,500
高校合宿・公認指導員等	1,400
雑支出	140
計	**3,040**

スポーツ指導員養成講座

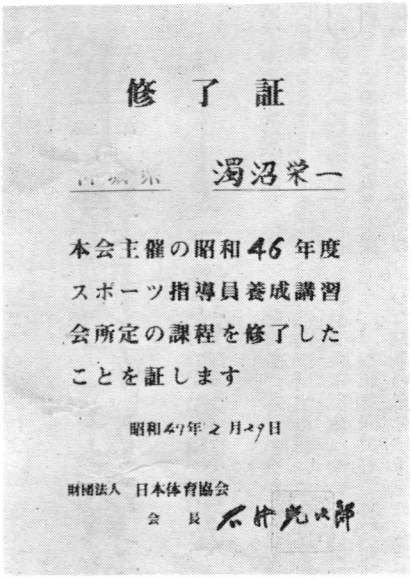
宮城県　バドに23人が受講

日本体育協会（日本バドミントン協会が加盟している上部団体）は、全国にスポーツ指導者を養成するために〝スポーツ指導員養成講習会〟を主催しているが、本年度宮城県の講習が二月十九・二十日、同二十八・二十九日の四日間にわたって、仙台市で行なわれた。

この会は、各県ごと、普及しており、人気もある競技10種目を選び、県下のスポーツ団体が協力して行なうもの。宮城県ではバドミントンのほか陸上、バレー、バスケット、ソフトボール、柔道、剣道、卓球、サッカー、弓道について実施した。

スケジュールの半分は、スポーツ指導者となる人にとって必要な教養講座、半分は種目ごとの実技指導。全参加者二百四十人のうち一割に当たる二十三人がバドミントンを受講した。

バドでは宮城県協会事務局の荘司達治氏が理論、町民大会などサークル運営の指導等を解説、渡部紘一氏が実技を受け持った。受講修了者には写真のような修了証が贈られた。


修了証

濁沼栄一

本会主催の昭和46年度スポーツ指導員養成講習会所定の課程を修了したことを証します

昭和47年2月29日

財団法人　日本体育協会
会長　[illegible]

大会スケジュール

〔石川県〕▽県社会人選手権（4月30日、寺井町）▽県教職員大会（5月14日、二水高）▽県実業団選手権団体戦（5月中旬）▽県高校選手権兼全国大会予選（6月2～5日、二水高）▽北陸三県総合選手権（6月11～12日、福井市）▽県民バドミントン団体戦（6月中旬、金沢大）★地区大会＝▽金沢市高校選手権（4月23、29、30県体）

〔広島県〕▽県個人総合選手権（4月16日、県体）▽中・四国学生選手権（5月、岡山）▽福山地区春季高校総体（5月6～7日、福山）▽一般年齢別選手権（5月21日、福山）▽県高校総体（6月3～4日福山）▽中国高校県予選（6月10～11日、福山）▽中国高校選手権（6月25～26日、鳥取）

〔愛知県〕▽中日楯春季県新人大会（4月23、29、30日、名古屋）▽高校選手権県予選個人（5月3～4日、喬徳館ジム）▽東海大学春季リーグ兼県学生選手権（5月8～19日、名古屋市体）▽県実業団選手権前期リーグ（5月8～19日、名古屋市体）▽全国高校県予選、東海総体県予選（団体）（5月日28、6月4日、時習館高）▽県中学大会（6月11日、県スポーツ合館）▽東海高校総体（6月24～25日、四日市南高）

審判リストをカード化

日本協会の審判委員会は、事務の円滑化をはかり、そのつど動員できる審判委員の実数を把握するため、リストの〝カードシステム化〟を採用することになった。このため、本年三月三十一日までに各級公認の審判資格をとった人は、カードを書きかえることになった。書き換え希望者は各地方協会（都道府県協会）が一括して、七月三十一日までに日本協会あて、申し込まなければならない。

★愛知県協会人事　▽会長＝後藤淳（愛知工大学長）▽常務理事（補充）＝大場直美（日大出、前関東学連委員長）▽理事（補充）＝井沢宏（名古屋鉄道）

★青森県協会人事　▽会長＝清藤六郎▽副会長＝奈良岡良一鈴木忠雄、海老名捷弥、福島力男、岩岡三夫、山内和夫▽理事長＝神　隆▽常任理事＝村井真弘、鳴海元一郎、今政栄、小山内信一、長内忠道、西塚勤、宇浪順也、遠藤清史、大沢三男、横山正二、市川元清、熊谷務、鎌田五郎▽総務委員長＝鎌田五郎▽競技委員長、指導普及委員長＝長内忠道▽審判委員長＝小山内信一▽競技力向上委員長

★青森県協会事務所＝青森市千刈2の1の16、神隆方▽同連絡先＝青森市長島1の191、青森県民生労働部職業安定課内神隆方（電）青森22局1111内線387

★宮城県協会表彰選手　宮城県協会はこのほど46年度の高校優秀選手を次のように決め、表彰した。

▽庄司亮一、佐賀康弥（県工業工）▽青山隆、関直和、杉本健吾、佐々木寿信（東北学院高）▽足利宏、伊東隆、漆沢浩、森弘志（東工大電子工業高）▽佐藤敏彦（仙台商業）▽早坂祐毅倉沢裕次郎（仙台高）▽八巻一洋、岩崎弘、菊地豊、宮城義宏（仙台三高）▽千葉忠夫（仙台育英高）

▽高橋正栄、宍戸美由紀（尚絅女学院高）▽佐藤つね子、坂本真寿美。坂本一枝、角力山久美子、渡辺美恵子（県第二女高）▽山口みどり、兵藤ひとみ、桜井京子、横田裕子（仙台女商）▽佐々木隆子、佐藤玲子（県古川女子高）▽佐藤輝子、遠藤栄子（県松島高）▽大江京子、中村道子、金岡宏枝、鈴木絹子（県塩釜女高）

★全日本学生連盟人事　▽委員長＝大胡田茂夫（早大）▽副委員長＝池田茂樹（専修大）西岡茂樹（竜谷大）

前号でお知らせした、日本協会アマ資格審査委員会規定と同細則は全文つぎのとおり。

アマチュア資格審査委員会規定

第1条　日本バドミントン協会（以下本会という）は日本バドミントン協会アマチュア規定（以下本会アマ規定という）第20条の定めによりアマチュア資格審査委員会（以下本委員会という）を設ける。

第2条　本委員会の構成は下記のとおりとする。

委員長1名、副委員長1名、委員若干名

また必要により名誉委員長1名、および相談役若干名をおくことができる。

第3条　本委員会の構成員は本会総会で選任し、任期は2年とする。ただし重任をさまたげない。

第4条　本委員会の会議には下記の出席を求める。

1。本会理事長および副理事長
2。その他本委員会が必要と認めたもの。

第5条　本委員会は下記の条項に関する事項を処理する。

1。本会アマ規定に違反する疑いがある本会会員または団体の審理究明（本会アマ規定第21条）
2。本会アマ規定に違反した本会会員または団体の処分（本会アマ規定第22条）

処分の方法は本規定細則の定めによる。

第6条　本委員会が決定した処分は、本会会長に速かに報告し本会会長がこれを処置する。

第7条　本委員会は本会会員または、それに準ずるものからの提訴によって事件を採択し審理にあたることを原則とする。

各事件の始末は本委員会において記録、保管する。

第8条　本会会員または団体

重大違反には資格剝奪も

――アマ資格審査細則など決まる――

について本会アマ規定に違反する疑いがあるときは、前条にかかわらず非公式に調査をすることがある。その結果により不採択となったときは公表しないことがある。

第9条　国際間にわたる事件に関しては国際バドミントン連盟および財団法人日本体育協会と連絡して処理する。

第10条　本委員会が定められた経費を越えて支出する場合は本会本会計予備費をこれにあてる。

第11条　本規定は本会総会で改廃する。

第12条　本規定の発効は昭和47年1月1日とする。

アマチュア資格審査委員会規定細則

第1条　本細則は日本バドミントン協会（以下本会という）アマチュア規定（以下本会アマ規定という）第22条および本会アマチュア資格審査委員会（以下本委員会という）規定第5条第2号の定めによって制定する

第2条　本委員会が本会アマ規定に違反する疑いのある本会会員または団体について提訴をうけ、これを採択して審理究明した結果の処分は下記のとおりとする。

1。本会アマ規定の定めに違反し全く情状酌量の余地がない場合。

アマチュア資格の剝奪。

2。作為的に違反の結果におとしいれられたことが明白で、本人が再度の違反をしないことを反省し誓約した場合

誓約書の提出。

3。誓約書の処分が重なった場合

アマチュア資格の停止、資格停止は1年、2年の2種とし、起算日は処分決定日とする。

4。事実無根が明白となった場合

厳重注意

第3条　本会会員または団体が本委員会の処分によってアマチュア資格を剝奪されてから、その本会会員または団体の希望による申請があった場合、本委員会はアマチュア資格復元の可否について協議し決定しなければならない。

ただし復元については剝奪の日より1年以上の期間を経過しなければ申請できない。

その本会会員または団体は、本委員会がアマ資格復元を認めて指定した日からアマチュア資格を得る。

第4条　本会会員または団体が本委員会の処分によってアマチュア資格を一時停止されてから停止の期間を完了した場合は完了の日からアマチュア資格を得る。ただし停止期間中でも他の本会アマ規定に違反する疑いについて提訴され、採択され、審理される。この場合その事件の採択の日から処分決定の日までの期間については、本細則第2条第1号の場合を除き下記のとおりとする。

1。本細則第2条第2号および第3号のとき

加算する。

2。同じく第4号のとき

加算しない

第5条　アマチュア資格停止期間中でもその本会会員または団体の希望による申請があった場合、本委員会は協議をしてこの処分を解除または短縮することができる。

第6条　本細則第3条によるアマチュア資格復元の申請および同第5条によるアマチュア資格停止の解除または短縮の申請については、その本会会員または団体が所属する。または所属していた都道府県バドミントン協会会長名副記による申請書を本委員会委員長に提出しなければならない。

第7条　本細則は本会総会で改廃する。

第8条　本細則の発効は本委員会規定と同時とする。

岩手県協会副会長
八木橋伸夫

ばどみんとん昔むかし

＜連　載　第４回＞

＝一人用のフトンはありません＝

……びっくりずくめの四国・善通寺国体……

四国の善通寺における国体は別の意味で面白かった。前に広島の宿は最高だったと書いたが四国では私どもの宿は芸妓の置屋のような小料理屋であった。私は県の選手団とは無関係で前にもちょっと触れたが、本部依頼の公認審判員としての別行動であった。たまたま本部宿舎にあきがなく、止むを得ず県選手団宿舎に割込んだかたちであった。

まず驚いたのは到着早々。盛岡からまる一日かかっての旅で、選手も疲れきっていた。そこで、監督の川村権治君とかたって、選手だけをひとまず昼寝させることにした。部屋割りやら、食事やら、宿と打合せて部屋に行ってビックリ！坊主頭の高校生が二人ずつフトンにはいって寝ているのである。

ベテランもあがりっぱなし

さっそく宿にかけあって、一人ずつ寝かしてくれ、疲れているんだから、せめて、ゆっくりのびのびと休ませたいと申し出たところ、「ウチには一人用のフトンがありません」との答え。今でこそ、若い連中ほどダブルベッドのなんたるかをわきまえているが、私など見るのも初めてであり、当時としては風紀上、教育上好ましからざる存在と思うのは当然。

さすがの私もいささかアガリぎみ。附き添いの高校の先生などは何もいえずに困惑のてい。私と監督の二人は妻帯者であったが、見るのが初めてなら、寝た経験も当然皆無。こまったナとは思いながらも、無いものはしようがない。

善通寺という弘法大師様の町のくせに、なんでこんなと、イブカッタところ、この町には、昔から陸軍の師団があって、日曜日ともなると、近郷近在から兵隊さんへの面会人が押寄せてくる。そして、ひさしぶりの面会外出とあいなり、この種の店で飲食し、つかの間の青春を楽しむのだとの話であった。

かくしてその日から一週間、わが親愛なる選手諸君は、同衾(?)をよぎなくされたのであった。私だけは一人で寝たが、一人では広過ぎて、なんとなく手持不沙汰(?)があり、かといって二ツ折りにして寝ると三等現在の二等寝台のように狭くて具合が悪い。やはり、これは二人が最適なのだと、しみじみ思ったことだった。

芸妓屋というのが、またナントモ面白い。

日曜劇場（テレビ）で「女と味噌汁」という番組が好評のようであるがあの、そこはかとないお色気が、視聴者に受けているのであろう。池内淳子のお色気と好演はもちろんだが、女の城みたいな、あの一風独特な小社会が興味深い。

さて、わが宿に話を戻そう、嬉しいことに朝食の時から、姐さん連中の無料サービスが始まる。洗濯や繕い物は当り前、負けて早く帰って来た選手の話相手もしてくれる。昼食も会場が近いので、宿に帰って食べた方が、お茶もあり、お給仕もあり楽しいというもの。

そんな時間帯には猫が昼寝していく、芸妓がネコ（三味線）をポツン、ポツンと弾いて練習していたり、まことに、のどかなものだった。

やがて夕食となる。芸妓総揚げの豪華な一大晩餐会が開幕される。とはいっても監督や選手は酒は飲めない。

選手が食卓から引き揚げた後に、私の晩酌が始まる。

晩酌は今でも毎日欠かさない習慣になっている。善通寺ではたしか「金陵」という地元の銘酒を楽しんだ。この酒には、また別な思い出がある。あの有名な金比羅宮に詣る途次、酒屋の看板に、あまりにもみごとな金文字を見出だし、しばし見ほれたことであった。

書聖の筆になる看板

横書の楷書の金文字は、すなわち金陵であった。素晴しいとつくづく見入ると、鳴鶴だったか、海鶴だったかは忘れてしまったが、とにかく、まぎれもない名人の筆であった。私も海鶴の手本で習った者の一人であり妙なコジツケではなく、まったくありがたくこの酒を買って帰った。

酒瓶のラベルの文字を眺めてあきず、書聖にあやかりたいと毎日これを友としたのである。

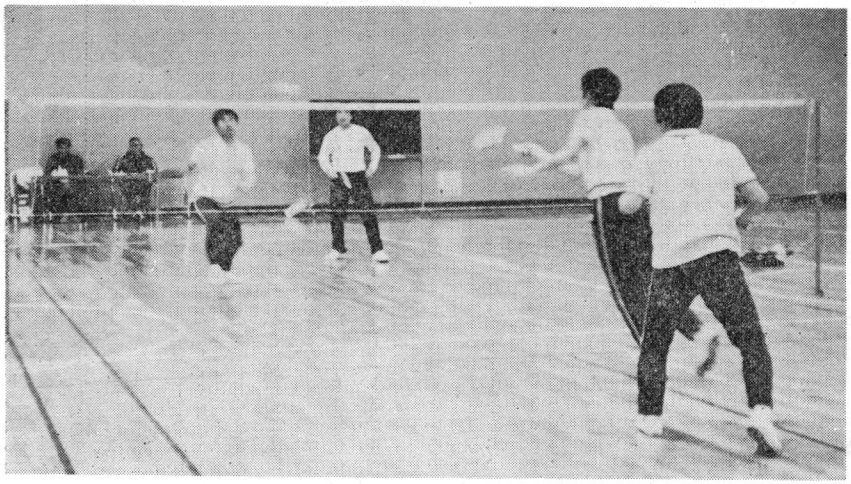
誠に不謹慎な審判員と、お叱りを受けるかも知れないが、酒は好きだし、姐チャンは綺麗という、唄の文句みたいな環境で、趣味と実益を堪能したしだい。今でもあのラベルを使っているとすれば、是非もう一度、お目にかかりたいものだと念じている。

せっかく四国で書聖にあやかった積りだったが、書の方より酒の方の腕のみ上達し、それも今では齢とともに弱る一方であり、いささか歎かわしい。

（続く）

切り札の〝複〟育成を

本間・栂野尾の新ペア軌道に



第2回男子ナショナルチーム合宿

――3月1日―6日（甲府ルポ）

当面は近ずくト杯（男子世界選手権）のため、長期的には日本が世界の王座を制し、これを維持していこう、という目的で結成された男子ナショナル・チーム。その第二回強化合宿が、正月の仙台合宿に続き、三月一日から六日まで、甲府市の山梨県体育館（宿舎・湯村温泉銀星館）で行なわれ、別記のようなスタッフが参加した。すでに基礎的段階は卒業しているので、今日はダブルスとチームワークの強化を中心に多大の効果をあげた。その大要を渡部コーチのメモをもとに、紹介する。

☆　☆　☆

今回の合宿では次のような点を主な目標に決めた。

①エース・ダブルスの育成
②全英選手権出場者の強化
③ゲーム中心の技術向上
④チームワークの強化

これにともない、日程も各日通しということで、次のとおりにした。

・7時半起床、8時朝食
・9時―12時ダブルスを中心にしたゲーム
・12時半―2時宿舎で昼食
・3時―6時シングルスを中心としたゲーム
・7時―7時半夕食
・8時―9時ミーティング
・10時半消灯

第一回合宿の反省にもとづき今回は自主トレーニングの中で体力の増強につとめた上、参加することになっていた。このため〝ぶっつけ本番〟に近かった前回とはちがい、比較にならないほど効果が期待できた。

また、練習をダレさせず、効率的に進め、体力向上もあわせて考えるということで、ゲーム形式を重点にした。

ダブルスは、まず本間・栂野尾という長身の新しいペアを強力に育てあげる、という方針でのぞみ、結果的にいえば、まずまずの成果をあげた。

もちろん、秋山、小島というベテラン組も張り切り、非常にがんばってくれた。しかし、正直にいうと、あまり張り切られた場合、体力が心配だ。

チームワークについては、若手も目立って打ちとけ、家族的ムードができてきた点、大いにプラスだった。しかし〝慣れ〟によるマンネリ化ということも、今後、予想される。

考えてみれば、お互い、いまひとつ厳しさに欠ける点があったのも事実。〝練習は厳しく、合宿は楽しく〟は、実際やってみるとむずかしいもの。中学、高校の先生方の苦労が身にしみてわかった。

前回も触れたが、地元協会には多大の援助をいただいた。差し入れは毎度のこと。地方合宿のよさは、こんなところにもあるわけだが、頭が下がる思いだ

第二回合宿参加者

▽コーチ　越川啓、板垣隆房渡部紘一（以上＝日本協会競技力向上委員）
▽選手　秋山真男（秋山紙店）小島一平、栂野尾昌一（ヨネヤマラケット）鈴木健二、池田信孝（電電東京）本間順次（トヨタ自工）今泉勉（高岡市役所）草島正治、田所光男（法大）谷口寛（立大）

ナショナル・チームのマークを募集します

男子第二回合宿の席上、参加者から「ナショナル・チームのマークをつくろう」「バド界で全国の皆さんに呼びかけ、ワッペンでも募集してもらえたら」という声が多数出ました。

渡部コーチから、このむね本誌に協力方を頼むとの申し入れがありましたので、さっそく、皆さん方に呼びかけました。紙上を借りて、お礼を申しあげます。

反面、合宿にマネジャーがいないため、だれかがその仕事をしなければならない。今回は板垣コーチが、その損な役割りを引き受けてくれた。おかげで、ヒマのあるときは、一生けんめいお金の計算。人手は大変なことだ。

ついでに、もう一つ、グチをいわせてもらうと、資金が足りない。別に今回に始まったことでないが、実態は赤字。強化の実は金によって決まるわけではないが、もう少しなんとかならないだろうか。

☆

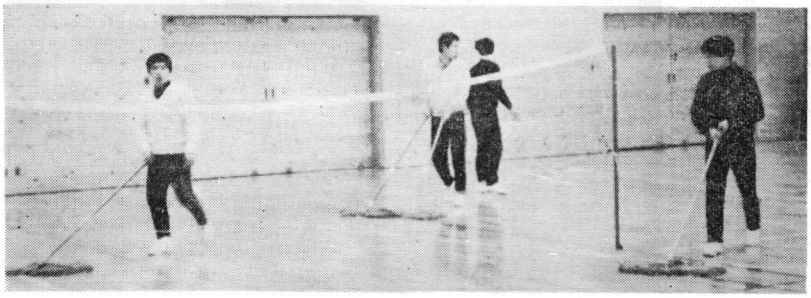
日本サッカー界育ての親D・クラマーさん（西独）は「腹の突き出たものはコーチの資格がない」「選手に模範技術を示せないものは、グラウンドから去るべきだ」といったそうだ。もっともなことで、私たちコーチング・スタッフも、率先して陣頭に立つよう努めた。

一番、先輩格の越川コーチがコートサイドでじっと見守る。ものをいわないだけ、こわい感じで、選手たちも、いいかげんなことができない。

板垣、渡部コンビはまだまだ血気盛んとあって、ダブルスを組み、バテぎみになった選手をつかまえては「一丁こい」。渡部コーチはそれでも足りず、トレーニング・体操もすべて模範を示し、ミーティングでも、いいたい放題の熱弁。

くわしい応募方法、規定等は次号に掲載いたします。みんなの力で日本のバドミントンを盛り立てていこうではありませんか。（編集部）

必ず男子用のみ、とばかりは限りません。女子ナショナル・チーム用、あるいは共通ということでもけっこうですが、マークを考えて下さい。



「どこで、あんなに色々よけいなことを覚えたのか」「弱いものいじめばかりする」「欲求不満じゃないか」等々、ぼやく選手の声が、いまでも聞こえるようだ。

時々、体育館に電話がかかってくる。関係者の激励だ。競技力向上委員の佐藤茂雄先生（東大阪短大監督）都合で今回は参加できず、大阪から電話で「がんばって下さい。がんばって下さい」を繰り返していた。

☆

秋山選手——地元のスターとあって、女性からの差し入れが続々、チキショーと歯ぎしりするやつが大勢。

小島選手——奥さんの写真を胸にさっそう（ニヤニヤ）合宿入り。池田選手しきりに「家庭生活のありかたと現状」について質問。どういうわけ？

鈴木選手——ラケットといっしょに必ずテープレコーダーを持参、ヒマがあると聞いている。いい趣味だが、中味はナニ。

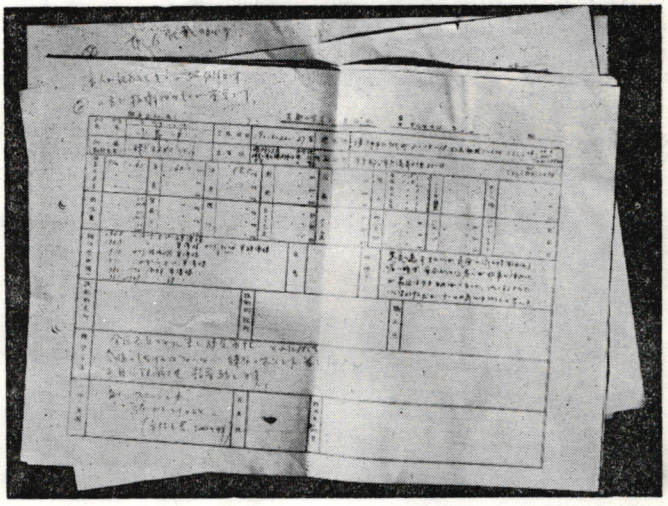


▲練習ありがとう。終われば清掃して。▶六人兄弟？左から田所、本間（前から後に）池田、鈴木、今泉、右は板垣コーチ

スポーツマン・カルテ採用

男子全日本チームでの初の試み

選手の自覚と指導効果うながす



ここに示したのは男子ナショナル・チームがつくった「スポーツマン・カルテ」。チームのコーチ団から見本が送られてきたので、ご紹介する。

※　※　※

カードには二種類あって、一部は、報道関係の資料になるもの。①生年月日②現在所③勤務先　④出身校（中学から）⑤体位測定データ（視力、レントゲン検査、疾患の有無）⑥主な戦歴⑦その他――でできている。

もう一部（これをB、前者をAと仮りに呼ぶ）は、もっとくわしく、原則として関係者以外に〝部外秘〟。

まず、体力測定データが加えられ、ほかに技術と性格に関する項目が多い。本人とコーチが記入する項目に分類され、選手自身には「自分をどのように評価しているか、今後どのような目標を設定しているか」書かせ、それを読んだ上で、コーチがアドバイスを加えて返す。

項目をあげると①性格②技術的長所③同短所④矯正点⑤練習法⑥今後の課題がある。

このカルテは合宿ごとに一枚づつふえていく仕組み。すべて指導には一貫性が必要だが、回収されたカルテを引き継いでいくことにより、前回のコーチが次回の合宿に出られない場合でも、混乱や誤解を避けて、効果的に指導できる。また次回の総合対策も立てやすいわけだ。

コーチ団としては「テストケースなので、まだまだ改良の余地があり今後、研究を重ねて実のあるものに」といっている。



ユ杯のバッジ売り出します

ユ杯の入場券、その他準備状況については「読者の広場」欄でお知らせしてありますが、もう一つ、ホットニュースがあるのでお知らせします。

写真のような（実物はこの四分の一の大きさ）バッジを売り出します。大会のとき、選手・役員などがつけるものと同じデザインですが〝バーゲン版〟で一個百五十円。送料などをふくめ百七十五円です。発売は五月十日から、くわしくは協会へ。

緊急！ＴＶバド講座

東京ＮＥＴテレビ系で5月1日から26日までの毎週月曜から金曜、計20回にわたり「テレビ・バドミントン講座」が放映されます。時間は毎日午後6時半から6時35分までの5分間。

用具の説明からストロークの種類、打ち方、フットワーク、実戦のゲームや練習法、作戦などを、順を追って進めていくので、いわば画面で見る入門書。一つの大きな特色は、子供たちが戸外でも楽しくやれるバドミントン、風があってもやれる遊び方という項目を加えてあることです。

日本教職員連盟理事長・平田登志郎先生が指導、モデルとして東京・中台中バドミントン部、ＰＴＡクラブが出演します。

スイングの原理を知ろう

〝正しく打つ〟とは何か

続・そこが聞きたい「円運動の必要性」

シャトルを打つためのラケットのスイング（振り）は三つの部分に分けて考えることができます。バックスイング（うしろへ引く）から、シャトルに当たるまでの中間、当たったあとのフォロースルー（振り抜きの動作）です。

かりに、バックスイングなしに、身体の線（頭上やワキ）でラケットを動かさず、飛んできたハネに当ててごらんなさい。ぽとんと下に落ちて、せいぜい1㍍前方にころがるだけです。

もちろん、バックスイングは腕だけのものではなく、体重を乗せて加速を加えるために、身体全体をひねりながら、ということは、ご存知の通りです。

では、次にフォロースルーはなぜ必要なのでしょうか。

シャトルとラケットの打面がミートするのは、ごく一瞬です。シャトルは一瞬後、ラケットのとどかない前方へ飛んでいってしまいます。それなら、当たったあとまで、ラケットがシャトルを追っかける動作は全く必要ないじゃないか――。

ゴルフのスイングを高速度撮影で科学的に分析したところによると、ボールとクラブ・フェイス（打面）が接触する時間は五万分の一秒であり、また、接触したまま移動する距離はわずか2㌢だそうです。

残念ながら、編集部ではバドミントンに関して、こうしたデータを知りませんが、シャトルの初速が250㌔といわれるところから考えても、事情は似たようなものでしょう。それだったら〝振り抜き〟は不必要？

ところがまた、あるものの本によりますと、ものを打つ競技では「打たれた物体は、一旦、前方へ飛び出すが、復元力が働いて、一瞬、逆もどりし、それを打った物体が追いかけ、二度目の接触の力で、今度は本当に飛んでいく」のだそうです。

話の出典を忘れたので、これ以上くわしく説明できませんが、たとえば野球でいうと、打たれた物体（ボール）は打撃の衝撃でへこむようにゆがみ、その後、もとの完全な球形に戻る力が働くということです。これはゴムマリを打ったり、たたいたりすると、よくわかります。

シャトルの場合も、半球体のコルクを打つのですから、この話を本当だとすると、インパクトの瞬間、ラケットをぴたり止めれば、シャトルは飛ばないことになります。

そこで、次のように考えてみましょう。電車でも車にでも乗っていて、急ブレーキがかかった場合、あなたは、もとのまま動かずにいられますか。前のめりによろけるでしょう。運転手がブレーキを踏んでもよろけないのは、急停止に備えて、身体の準備をするからです。

さあ、フォロースルーが必要でないとして、あなたは打ったラケットをピタッと止められないはずです。ドロップならともかく、強打する場合には。

もし止めれば、シャトルは飛びません。そうすると、強く遠くへ飛ばすためには、バックスイングもフォロースルーも必要なのです。いいかえると、正しくヒットすれば、必ず正しいフォロースルーが伴うのです。

長々とスイングの原理みたいなものをのべましたが、それは往々にして、初心者は正しいバックスイングと、正しいフォロースルーをしないからです。

陥りがちな点を簡単にあげてみます。

バックスイングでは、大きく振ろうとするため、ヒジを下げ、しかも肩に力がはいり、スイングの戻りが遅れます。しかもウエイトが乗らず、インパクトで力がはいりません。

フォロースルーについて。打った直後、そのまま腕を身体の方に引き戻そうとします。この場合でも、ヒジを曲げがちです。高いタマ（オーバーヘッド）にしろ、中間のタマ（サイドハンド）にしろ、肩を中心に腕―ラケットの一本の線で円を書くような気持ちでやることが大切です。

打つ動作は遠心力の応用みたいなものです。肩からラケットの打面までを一本の糸と考え、その先きにオモリ（シャトル）をつけて振りまわすと考えればはっきりします。糸が長ければ長いほど、糸を切ってオモリが外へ飛び出そうとする力は強い。大切なときにヒジが曲がれば、糸の長さが半分になったようなものです。

さて、以上の話で推理できると思います。クリヤーを最初に学ぶのは、それがオーバーヘッドのストロークで、スイングのさい腕の〝円運動〟がしやすく、視線がタマを捕えやすいからです。サイドバンドでは〝円運動〟がむずかしい。目も捕えにくくつい手首やヒジから先だけで処理したくなります。

タマを無理に引っぱり込んだり、巻き込むようなスイングをすると打球線が切れて、ねらった方向へ飛びません。それはラケットがフラット（平ら＝ねらった打球方向と直角に打面が当たる）になっていないからです。特殊なフライトを除いては、この点が大切です。（続）

原点からスタートしよう

新入生に〝雑役〟のすすめ

「耐えることの尊さ」

東大阪短大監督
佐藤茂雄

新学期になった。新しく中学高校でバドミントンを始めた人も多いだろう。民間のクラブ、町の教室などにはいった人もいるかもしれない。

そういった人達に、少々、忠告をしてみよう。

〝ものには順序〟がある。その順序をまちがえると、途中で必ず行きずまり、挫折することが多い。一足とびに、一気になどといえばカッコいいが、それは地力のついた、レベルの高い人達に通用する話。

そのときだけは、他より先んじたように見えるが、次のステップは危っかしく、見苦しいものになりがちだ。土台がなくて家は建てられない。

クラブもグループも、一つの目的のために作られた組織だ。組織にはコーチ、主将、マネジャーもいる。命令、指揮する人それを受けて実行する人、いろんな役目、立ち場がある。

そこで〝封建的〟といわれるかもしれないが、私はあえていたい。新入生は縁の下の力持ちから始めよ、と。体育館や部室、トイレの清掃、用具の準備あと始末、使い走り……雑用は山ほどある。

「そんなことのために入部したのではない」と諸君はいうかもしれない。だれだってシャトルが打ちたい。では雑用はだれがやるか。清掃や使い走りが三度のメシより好きな人など、いるわけはない。しかし、これも練習の一つなのだ。そう考えてほしい。

どんなことでも誠意を持って一生けんめい、前向きの姿勢でやる、それが人間のつとめである。人間は本来、怠けもので、楽をしたがる動物だ。が、それでは平凡なサラリーマンの仕事だってつとまらない。苦しいことにうちかつ訓練をやっておかないと〝モヤシ人間〟になってしまう。

雑役などをやらせるのは、心身の鍛練が目的だ。最初から大選手はいない。こういう仕事でも一生けんめいやっていれば、必ずプレーにも役立つ。不服をもっていやいややる人間はプレーの面でも中途半パなことしかできない。

日本を代表する世界的名選手だって、みな、同じ道を歩んできた。時としては、シャトルを一打もさせてもらえぬまま、その日が終わる。落伍するものの大部分は、この段階で退部してしまう。

本当にバドミントンを愛し目的に向って邁進したいのなら、僅かの期間、耐え抜けるはずだ。もし、こうした考え方が民主主義の考えに反する、というのなら、スポーツは成り立たなくなるだろう。

雑役を逃げ出した人は、あとで練習からも逃げ出すにちがいない。練習の方が、もっと苦しく、きつい。雑役はカッコが悪いだけでないか。強い選手は心・技・体と三拍手そろっているもの。これも、下積みの中で苦労したからだ。

考えてみれば中学、高校、大学、社会人と進んでも、それぞれの段階で、一度は〝新入生〟にならなければいけないのだ。ものごとは、すべて善意にとれば〝感謝〟となり、悪意にとれば〝反発〟となり、マイナスしか残らない。

もう一つの面から考えてみよう。それはチーム・プレーだ。イヤなことはやらない、ではまとまらない。雑用ばかりでない。私はあの人とダブルスを組むのはイヤだ、とか、心臓が弱いからオーダーのトップはかんべんしてくれ、という人ばかりだったら、一体どうするか。

最初のくりかえしになるが、人に好かれる人、人のために役立とうという人が集ってこそ、チームワークもとれるのだ。

かりに「そんなことばかりやらされるのなら」と退部して、自分で1対1で個人コーチについたとする、しかし、耐えることを学んでいない人は、やはり1対1のきびしいトレーニングや練習にネをあげるだろう。

こういう話は、すべて私たちの長年の経験からいっているのだ。信用して、この文をもう一度読み、考えてもらいたい。

（日本協会競技力向上委員）



謙虚に基本にかえろう

国内で10指に数えられる、その地方のトップに立つ——これだけでも大変なことである。それに近い線にひしめいているプレーヤーもゴマンといる。いずれにしても、頂上に近ずけば近ずくほど、坂は急である。

人間には運も多少は影響する。ツイてる、ツイてない、がないとはいえない。しかし、私は運命は肯定しても、運命の前にすべてをあきらめ、努力を放棄することには賛成しない。

このカベを破るため努力することに、生きがいを感ずるものには、道が開ける。この〝努力〟がまことに地道な、孤独なものであることは、今までにも、しばしば述べてきた。一つのことをなしとげるのに、特効薬も近道もない。

ありきたりのトレーニング、ひと通りの基本打法の練習やゲーム練習をやっているていどでは、簡単に一線を越えることはむずかしい。

とくに、相手が見つかれば、ちょっとクリヤー、ドロップ、スマッシュをやって、ゲームに汗を流して……式のセット練習しかないというようでは、まず望みはない。永久に二軍、三軍に甘んじることになる。そこで私はこのさい「謙虚に基本に還る」ことを提唱する。

トップ級のものでも、よく見ると、あの欠点を補えば、あの力がつけば、あの配球のクセがなくなれば……というケースが多い。「もし……ならば」も、あとでは役に立たない。

もちろん、これにも個人差があって、一律にこうだ、とはいかない。なにか一つの兆候をとらえ、勝手な思いつきのままに強心臓のアドバイスを乱発しているむきもあるが、個人的な助言というのは、実際にむずかしいものである。

構えて、もったいをつけるわけではないが、プレーヤー諸君は、アドバイスをウのみにしないで、自分になにが必要か、どれを採るべきか、どのていどにやるべきか。みずから処方箋をつくる自覚と責任を持たねばならない。

〝岡目八目〟ということも時にはある。しかし、他人のアドバイスのままで強くなろう、カベを破ろう、などという甘い考え方は、今日だいまから、捨ててほしい。

それでは、なにも聞くな、見るなというのか、と反問される向きもあるだろう。そこで私は基本的な問題のいくつかを羅列（らられつ）して、その中から自分にあてはまるものを選んでもらいたいと思う。

秘訣は、与えられるものでなく、みずからさぐり当てるものだからである。私の役目は若い諸君に木とノミを提供することだ。ノミを使って木を彫るのは諸君の仕事である。次の問題を見ていただきたい。

× × ×

①走り込みを軽視していなかったか

②打点、打法を、時に検討しているか

③上体の正しいトレーニングを続けているか

④視線の配りは合理的だろうか

⑤フットワークはこれでよいだろうか

⑥ウイニング・ショットに自信があるか。どのようにして自信をつけようと思っているか

⑦フライトに飛びかかっているか。フライトを待っているのではないか

⑧パートナーをカバーする、とは一体どういうことか

⑨バックハンドに自信があるか。どのようにして自信をつけようと思うか

⑩試合のときに落ちつけるかどうしたら落ちつけると思うか

⑪戦術に自信があるか

⑫疲労してくると決まってミスが続出する。なんとか切り抜ける方法はないか

⑬無理をするとケイレンするクセがついた。いつもそれが気にかかる。どうしたらよいか

⑭腰が痛い、肩がうずく、手首が固い、思い切って休むべきか、セーブしながらも続けるべきか

⑮ダブルスのとき、どこにリターンしたらよいか、迷いが出るときなにか道を開く方法はないか…

× × ×

一流中の一流選手でも、多くの悩みをかかえているものだ。気付いていて答えがわからないことも、気付かないために直せないこともある。気付いたものは、まだ幸せなのだ。

悩みのないところに進歩はなく、カベを乗り越えずして展望は開けない。読者諸君の中には悩みやカベがいっぱいあるだろう。今後、どんどん投稿、質問してほしい。次号から一つ一つ私なりの意見を述べさせてもらうことになるだろう。

（日本協会競技力向上委員長）

編集部から——伊藤、佐藤両先生への質問を歓迎します。

ただし、氏名、年齢、学校（学年）バドミントン歴、そのレベル（主な戦績）身長、体重等や他に参考データがあればつけて下さい。

助言を〝うのみ〟にするな

「自己点検の必要性」

熊本女大教授
伊藤基記

■第19回早慶定期戦（46年9月12日・慶大日吉記念館）

◇大学男子戦

早　大9（単7―3　複2―3）6慶　大

◇大学女子戦

早　大3（単2―1　複1―1）2慶　大

◇OB戦

稲門クラ5（複5―4）（二引分）4三田クラ

◇高校戦

慶応義塾5（単3―0　複2―0）0早稲田学院

▽個人賞＝最優秀選手賞・今井茂満（早大）、殊勲賞・上野利三（慶大）敢闘賞・佐々木祐一（慶大）

■昭和46年度関東大学秋季リーグ戦一部（46年10月15、16、22、29、30日・江戸川体育館）

◇男　子

▽第1日

早　大5（単4―2　複1―2）4法　大

中　大6（単4―2　複2―1）3日　大

日体大6（単4―2　複2―1）3青学大

▽第2日

法　大7（単4―2　複3―0）2青学大

中　大5（単3―3　複2―1）4早　大

日体大6（単4―2　複2―1）3青学大

▽第3日

法　大5（単3―3　複2―1）4日　大

中　大5（単3―3　複2―1）4日体大

早　大6（単5―1　複1―2）3青学大

▽第4日

法　大5（単4―2　複1―2）4日体大

中　大8（単6―0　複2―1）1青学大

日　大6（単4―2　複2―1）3早　大

▽最終日

中　大5（単3―2　複2―1）3法　大

早　大5（単3―3　複2―1）4日体大

日　大7（単5―1　複2―1）2青学大

（順位）①中大②日大③法大④早大⑤日体大⑥青学大

◇女　子

▽第1日

日体大4（単2―1　複2―0）1青学大

日女体5（単3―0　複2―0）0千葉大

東女体5（単3―0　複2―0）0昭女大

▽第2日

日体大5（単3―0　複2―0）0昭女大

日女体4（単2―1　複2―0）1青学大

東女体5（単3―0　複2―0）0千葉大

▽第3日

日体大4（単3―0　複1―1）1千葉大

日女体5（単3―0　複2―0）0東女体

青学大5（単3―0　複2―0）0昭女大

▽第4日

日体大5（単3―0　複2―0）0東女体

日女体5（単3―0　複2―0）0昭女大

青学大5（単3―0　複2―0）0千葉大

▽最終日

日体大3（単2―0　複1―1）1日女体

青学大3（単2―0　複1―0）0東女体

千葉大3（単2―1　複1―1）2昭女大

（順位）①日体大②日女体大③青学大④東女体大⑤千葉大⑥昭和女大

■第26回岡山県高校秋季選手権大会（高校独立第1回）、46年10月29―30日・西大寺高校体育館）

◇男子シングルス

▽準決勝

永井（水工）2―0仁科（倉工）

重井（青陵）2―0那須（水工）

▽決　勝

重　井2（1717―1615）0永　井

◇男子ダブルス

▽決　勝

鶴沢・塩飽（倉工）2（1815―1715）0那須・渡辺（水工）

◇女子シングルス

▽準決勝

三宅（山陽）2―0中島（西大）

田辺（山陽）2―0三田（山陽）

▽決　勝

三　宅2（1111―16　4）0田　辺

◇女子ダブルス

▽決　勝

平田・林（山陽）2（1515―3　7）0田辺・三宅（山陽）

■第6回近畿教職員選手権大会（1月15日・大阪市立阿倍野体育館）

◇一般男子シングルス

▽決　勝

中西（和・新宮商）2（3―15　1515―12　6）1藤上信（滋・祇王小）

◇一般男子ダブルス

▽決　勝

杉田・伊勢田（大・四条畷学園、追手門学小）2（1515―9　8）0久保田・藤上（滋・逢坂小、祇王小）

◇一般女子シングルス

▽決　勝

横田（大・朋来幼）2（1212―9　11）0大城（奈・畝北幼）

◇一般女子ダブルス

▽決　勝

横田・東堤（大・朋来幼、高倉小）2（1515―2　4）0小藪・大城（奈・土庫小、畝北幼）

◇30歳男子シングルス

▽決　勝

北野（大向丘小）2（1515―14　11）0北村（滋・彦根西高）

◇30歳男子ダブルス

▽決　勝

北野・宝来（大・向丘小、教大附小）2（1517―15　8）0寺田・北村（滋・彦根西高）

◇40歳男子シングルス

▽決　勝

青木（大・茨木工）2（1515―8　7）0吉持（兵・神戸商）

◇40歳男子ダブルス

▽決　勝

吉村・長谷川（兵・神戸商、親和高）2（15―15　7―15　15―7）1青木・斉藤（大・茨木工、箕面高）

■第17回香川県総合選手権大会（2月11、13日・県立体育館）

◇男子団体戦

▽決　勝

高　松　商3（単3―0　複0―2）2教　員

◇女子団体戦

▽決　勝

琴平電鉄　3―2　百十四銀行

◇男子シングルス

▽決　勝

吉川（Rncpak）2（1515―9　10）0辻本（田中鉄工）

RECORD

◇男子ダブルス

▽決　勝

吉川・高尾（Rncpark）　2（18―15）（15―6）0　杉本・多田器、田中鉄工）

◇女子シングルス

▽決　勝

井上（琴平電鉄）　2（11―7）（4―11）（8―6）1　森（百十四銀行）

◇女子ダブルス

▽決　勝

森・川東（百十四銀行）　2（15―8）（7―15）0　小西・福本（百十四銀行）

◇混合ダブルス

▽決　勝

辻本・小西（田中鉄工、百十四銀行）　2（15―18）（9―17）0　高尾・福本（Rncpak百十四銀行）

■46年度新潟県総合選手権大会

（3月20日・長岡市厚生会館）

〔男子シングルス〕

▽準々決勝

鷲尾（中大）2―0高橋（新商OB）、阿部（新商OB）2―1鈴木（三条協）、橋崎（三条協）2―0大竹（新商OB）、尾崎（中大）2―0長谷川（菖羽会）

▽準決勝

鷲尾　2（15―7）（15―1）0　阿部

尾崎　2（15―4）（15―0）0　橋崎

▽決　勝

鷲尾　2（15―9）0　尾崎

▽三位決定戦

阿部　2―1　橋崎

〔男子ダブルス〕

▽準々決勝

鷲尾・尾崎（中大）2―0高橋・高橋（新商OB）、本間・池田（新潟ク）2―0小日山・小林（三条協）、捧・橋崎（三条協）2―0大竹・倉内（羽友会）、阿部・大竹（新商OB）2―0鈴木・中山（三条協）

▽準決勝

鷲尾・尾崎2（15―7）（6―15）0　本間・池田

阿部・大竹2（15―6）（16―15）（15―18）1　捧・橋崎

▽決　勝

鷲尾・尾崎2（15―7）（14―16）0　阿部・大竹

▽三位決定戦

本間・池田2―0捧・橋崎

〔女子シングルス〕

▽準々決勝

池田（青陵）2―0酒井（青陵）、本間（青陵OG）2―0柳谷（中央OG）、鈴木（中央OG）2―0大越（青陵）高井（三条東）2―0高野（中央OG）

▽準決勝

本間　2―0　池田

鈴木　2―0　高井

▽決　勝

鈴木2（11―6）（11―6）0　本間

▽三位決定戦

池田2（12―10）（5―9）（11―10）1　高井

〔女子ダブルス〕

▽準決勝

大越・池田（青陵）2―0長谷川・高井（三条東）、鈴木・本間（中央OG、青陵OG）2―0鳥越・高橋（日産化学）

▽決　勝

鈴木・本間2（15―7）（5―15）0　大越・池田

▽三位決定戦

長谷川・高井2（15―8）（13―12）1　鳥越・高橋

〔30歳以上男子〕

▽シングルス決勝

中川　2―1　山田（羽好会）（新潟ク）

▽ダブルス決勝

山田・高見　2―1　佐藤・宮川（新潟ク）（青山ク）

■第12回新潟県総合団体選手権大会（2月6日・三条市）

▽男子A級準決勝

新商OBA　2―1　三条協会B

三条協会A　2―0　新潟ク

▽決　勝

新商OBA　2―1　三条協会A

新津（小日山）0（5―7）（11―11）2　山崎

大竹2（4―11）（11―8）1　鈴木

阿部2（11―11）（6―16）0　中山

▽女子A級準決勝

青陵高A　2―1　三条東

三条協会　2―0　青陵高B

▽決　勝

青陵高A　2―0　三条協会

菅山2（11―11）（2―0）0　杉井

前田2（9―9）（1―5）0　板垣

▽男子B級準決勝

新潟県庁A　2―1　新潟ク

日産化学　2―1　三条協会

▽決　勝

新潟県庁A　2―1　日産化学

▽女子B級準決勝

新潟女高B　3―0　小千谷西B

新潟女高C　2―0　小千谷西A

▽決　勝

新潟女高B　2―0　新潟女高C



◆春季リーグ戦日程◆

（入場無料）

4月29日（祝）　30日（日）

5月3日（祝）　6日（土）　7日（日）

於板橋体育館

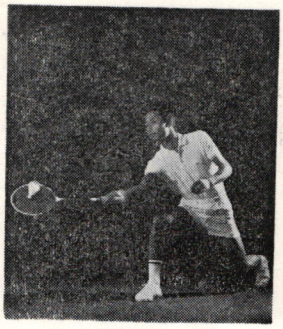
（都営地下鉄志村坂上下車　徒歩7分）

RECORD

《表紙》

梅野尾　昌一

ヨネヤマラケット



春の海外遠征の一行のうち、梅野尾君だけが米大陸にわたりカナダと米国の選手権に出場した。実は先輩・小島君と二人の予定だったが、小島君が肩と腕を痛め（これが全英等で不調の原因だったそうだ）女子の一行と帰国することになったのでやむを得ず〝一人旅〟になったのだ。

これを聞いたとき協会の関係者一同「大丈夫かな」「無事、帰国できたら、お祝いしてやらなきゃ」など冗談がしきりにとび出した。この話から、梅野尾君がいかなる人物か、皆さん想像してほしい。案の定？モントリオールでカナダ側の迎えがなく、梅野尾君、日本料理屋を探して飛び込み、翌日、無事、迎えに来てもらったそうだ。

一昨年末のアジア大会代表。欧米遠征二度、昨年末の全日本選手権者、富山商、法大出。

沖縄協会に手渡す

＝〝善意の援助品〟＝

川端理事長らが現地で

既報（本年一月号）のように集った沖縄への用具の〝善意の寄託〟は、このほど無事、沖縄協会にお渡ししました。

三月四日から九日まで、日本バドミントン協会の川端理事長、村山事務局長、宮永競技力向上委員の三氏は、日本体育協会の指示で、来年五月、本土復帰を記念して行なわれる〝特別国体〟の開催事情視察のため、沖縄を訪問しました。

そのおり、一行が用具を持参しました。集まった金品のうち、お金十一万円余は用具メーカー三社（ヨネヤマ、カワサキ、サンバタ）のご協力を得て、ラケット60本、シャトル30ダースに変えたものです。

一行は現地で沖縄協会の仲村理事長と会い「バドミントン界」によって行なわれた善意運動の趣旨を説明の上、持参した用具を贈呈しました。沖縄協会も大変感激、今後の普及に役立てると感謝しました。

▲上記の行事は、記事締切り後、到着した分です。

編集室

○…やむを得ず、合併号としました。しかし、年間講読予約の方々は、当然、十二回分の権利がある。一回分ごまかすわけではないので、この点、あらかじめご承知おき下さい。なお、目下次号以降の編集には大馬力をかけるつもりですので、よろしくお願いします。

次号はいよいよ迫ってきたユ杯への期待を中心に、一大特集を組みます。帰国した選手団の報告や、あちらのパンフレットなどから、あるていど、各国の情勢も明らかにされることと思います。

○…時の流れは早い。編集をしているかたはしから、いろんなものが次々に飛び込んで来る。このために、いったん作ったページを変更したり、間に合わぬときは、まだあいている場所に急拠、押し込んだり。

このため、この最後のページに新潟県の行事を入れたり、ユ杯準備関係の記事が二カ所に分散したりしましたが、緊急のことゆえ、お許し下さい。幸か不幸か、雑誌郵送料は〝重さ〟に関係する。この小誌も毎号、次号まわしの原稿が出てくるのが悩みのタネ。

しかし、ページをふやせば、送料がハネ上がり、皆さん方読者に負担がかかることになる。それならもっと軽い紙（安いもの）を使ったら、との意見も時々出る。しかし、紙質がよく、見ても美しい〝格〟が、この小誌のひそかなほこり。それもできない。しばらく、ごしんぼう下さい。

○…本号の記事で、ぜひ皆さんの参考にしていただきたいのは〝友の会〟のこと。バドミントンを本当に国民的なものにし、しかも強くしていくには、こういう組織が大きな力を発揮する。各地でどしどし名乗りをあげることを期待しています。

△新潟県行事予定▽

▽県実業団兼知事杯（4月下旬・新潟市）▽県高校春期大会（5月6～7日・各地）▽第1回北信越実業団大会（6月4日高岡市）▽全国高校県予選（6月10～11日、新潟市）▽定時制高校地区大会（6月25日、各地区）▽全国中学大会県予選（6月中旬・新潟市）

◎次号は海外遠征報告と海外情勢を特集します

【バドミントン界】第31号

昭和47年3月25日　印刷
昭和47年4月1日　発行

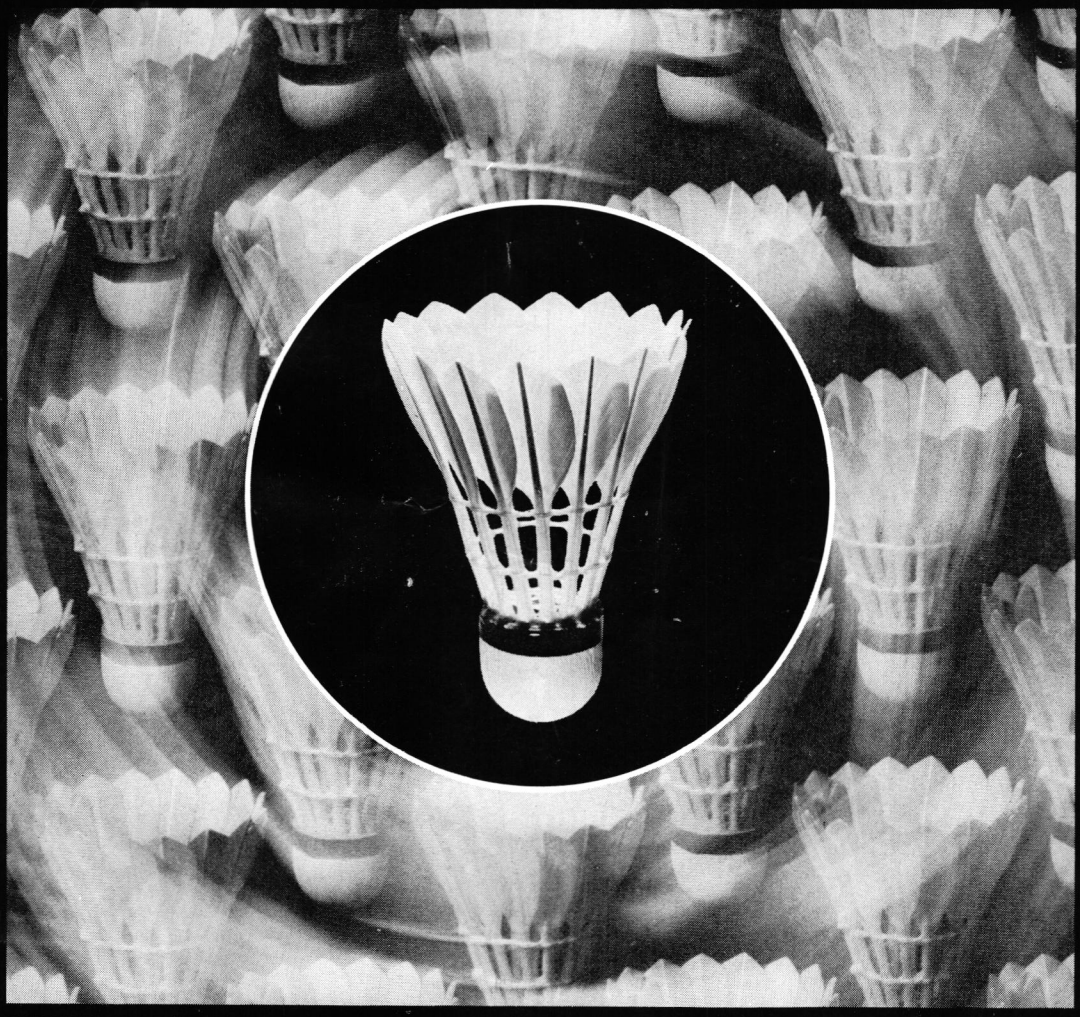
編集兼発行人　川端昇市
発行所　東京都渋谷区神南一の一の一　岸記念体育館内　日本バドミントン協会
電話　四六八・三一一一（内線）二五一
四六七・七〇九五（直通）
郵便番号・一五〇
振替口座・東京三二一九三
印刷所　東京都豊島区南大塚二一二九　明宏印刷株式会社

定価　一部　百三十円

✳“本物のよさ”が人気の的(まと)です。

エリートデラックス

《日本バドミントン協会検定合格球》



エリート・シリーズ

❖エリート デラックス
〈検定合格球〉 ￥2,300

❖エリート トップ
〈検定合格球〉 ￥1,950

❖エリート エース
〈試合球〉 ￥1,800

❖エリート ストロング
〈練習球〉 ￥1,450

❖エリート スペシャル
〈練習球〉 ￥1,150

K TOKYO

河崎ラケット工業株式会社
東京都台東区台東2-28-5 TEL831-0453・1884

月刊「バドミントン界」第31号
昭和四十七年三月一日発行（毎月一回一日発行）
昭和四十四年十二月二十日第三種郵便物認可
発行所
東京都渋谷区神南一ノ一ノ一
財団法人日本体育協会内
日本バドミントン協会
定価百三十円

